

個別施設計画(個票)

県庁・倉庫棟 ①

施設名/棟名	岩手県庁舎(知事局棟)		財産区分	行政財産				
所在地	盛岡市内丸10-1		施設類型	庁舎				
都市計画区域	都市計画区域内 <b>防火地域</b> 防火地域		用途地域	商業地域				
敷地面積	13,037.79㎡	建築面積	5,690.16㎡	延床面積	31,027.70㎡			
構造	SRC		階数	地上12階 地下1階				
竣工年度(建築年月)	1965年4月		経過年数	55年				
利用状況	執務室の不足に伴い本庁内部組織の一部を盛岡合同庁や民間賃貸ビルに移転しており狭隘化が著しい。2000年 2154人 →2011年 1929人 →2012年 2030人 →2020年 2148人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	一人当たり25m <sup>2</sup> 程度のスペースと限られており、これ以上有効活用することが困難になってきている。							
主な設備	①建築設備 ・屋根シート防水 ・屋根塗膜防水 ・外壁コンクリート打放	②電気設備 ・変電電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・監視カメラ設備 ・エレベーター	③機械設備 ・直吸冷水温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・都市ガス ・消火設備					
劣化度調査	①建築設備 屋上防水や外壁の老朽化が著しく進行しているが、構造躯体は概ね健全であり、長寿命化対策の実施により、さらに長期間の使用が可能。	②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。					
定期点検	①建築設備 ・既存不適格 ・コーキング剥離 ・排水溝詰まり	②電気設備	③機械設備 ・火気使用室に換気設備なし					
修繕工事履歴	①建築設備 ・防水改修工事(2000) ・外壁改修工事(2016) ・エレベーター改修工事(1991)	②電気設備 ・変電電設備(2003) ・放送用設備(2018) ・監視カメラ設備(2019)	③機械設備 ・屋外排水設備(2001) ・トイレ(2016) ・自動制御設備(2018)					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	102,924	102,924			28,692			28,692
H30								
H29					57,856			57,856
H28	35,882	35,882						32,368
H27								13,176
計	138,806	138,806			86,548			86,548

【優先度評価】

建物性能	低(旧)			
劣化度診断	A			
利用度	高			
1次評価	修繕・改修			
重要性	高			
見通し	無			
2次評価	I			

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修	優先度1			
評価結果(コメント)	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合、施設サービスの重要性が高いことから今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。				

長寿命化等対策の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合、施設サービスの重要性が高いことから今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上防水修繕工事設計</li> <li>執務環境調査</li> <li>エアコン更新工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上防水管理</li> <li>執務環境調査</li> <li>整備方針検討</li> <li>電送更新工事</li> <li>自家発電設備修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備方針検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画策定</li> <li>自家発電設備電池更新</li> <li>照明設備更新(設計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高寿命化設備基本設計</li> <li>照明設備更新工事</li> <li>昇降機長寿命化工事</li> </ul>	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:101,152千円 内訳 防水修繕設計(2,332千円) 執務環境調査(15,400千円) エアコン更新工事(62,300千円) 送電設備OH(5,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 緊急通報装置更新(566千円)	計:358,216千円 内訳 防水修繕工事(63,260千円) 執務環境調査(8,294千円) 修繕手法検討(11,814千円) 電話交換設備更新工事(228,016千円) 自家発電設備修繕(29,095千円) 時計設備電池更新(473千円) 熱源設備OH(5,060千円) 維持修繕費(15,204千円)	計:30,204千円 内訳 整備方針検討(15,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	計:40,026千円 内訳 基本計画(15,000千円) 自家発電電池更新(2,007千円) 照明設備更新(設計)(1,815千円) 昇降機長寿命化設計(6,000千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	計:586,978千円 内訳 基本設計(50,000千円) 自家発電電池更新(390千円) 照明設備更新(工事)(33,490千円) 昇降機長寿命化工事(431,784千円) テレビ共設設備更新(5,500千円) 維持修繕費(15,204千円) 財源:一般財源	合計:1,116,576千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 1②

施設名/棟名	岩手県庁舎(議会棟、渡り廊下棟)			財産区分	行政財産			
所在地	盛岡市内丸10-1			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業地域			
敷地面積	13,037.79㎡		建築面積	2,599.99㎡	延床面積	6,612.10㎡		
構造	SRC		階数	地上3階				
竣工年度(建築年月)	1965年4月		経過年数	55年				
利用状況	2020年の議員数は48名、一人当たり面積は114m2							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	人口の減少に伴い、利用者数に変化が生じる可能性がある。							
主な設備	①建築設備 ・屋根塗膜防水 ・外壁コンクリート打放		②電気設備 ・変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・監視カメラ設備 ・エレベーター		③機械設備 ・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・都市ガス ・消火設備			
劣化度調査	①建築設備 屋上防水や外壁の老朽化が著しく進行しているが、構造躯体は概ね健全であり、長寿命化対策の実施により、さらに長期間の使用が可能。		②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。		③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。			
定期点検	①建築設備 ・軒天コンクリート浮き ・既存不適格 雨漏り跡 ・コーキング剥離		②電気設備		③機械設備			
修繕工事履歴	①建築設備 ・防水改修工事(2003) ・外壁改修工事(1993) ・エレベーター設置工事(1994)		②電気設備 ・監視カメラ設備(2019)		③機械設備 ・機械設備改修工事(エアコン設置)(1987) ・自動制御設備(1990)			
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				0			
H29	0				0			
H28	0				0			
H27	0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	低(旧)			
劣化度診断	A			
利用度	高			
1次評価	修繕・改修			
重要性	高			
見通し	無			
2次評価	I			

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修	優先度1		
評価結果(コメント)	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化して継続使用する場合には、通常の施設サービスに属する施設ではないが、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくものとする。			
長寿命化等対策の方向性	耐震改修が未実施であり、築後55年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化については、必要な修繕・改修を行いながら、建て替えも含めて検討を行うものとする。			

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・屋根外壁修繕工事	・空調設備更新設計	・照明設備更新設計 ・空調設備更新工事	・照明設備更新工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:130,444千円 内訳 修繕工事 (127,204千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:4,912千円 内訳 執務環境調査 整備手法検討 (費用は知事局棟に含む) 空調設備更新工事設計 (1,672千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:84,419千円 内訳 整備方針検討 (費用は知事局棟に含む) 照明設備更新設計 (1,815千円) 空調設備更新工事 (79,364千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:31,354千円 内訳 基本計画 (費用は知事局棟に含む) 照明設備更新工事 (28,114千円) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	計:3,240千円 内訳 基本設計 (費用は知事局棟に含む) 維持修繕費 (3,240千円) 財源:一般財源	合計:254,369千円



個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 No. 5

施設名/棟名	盛岡地区合同庁舎/本庁舎			財産区分	行政財産
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業地域
敷地面積	4,893.54㎡ 建築面積		1,240.57㎡	延床面積	14,866.5㎡
構造	SRC	階数	地上8階、地下1階		
竣工年度(建築年月)	1969年11月		経過年数	R2.4.1現在	
利用状況	勤務する職員数規模は振興局再編前の2000年と比較すると縮小しているが、当面は横ばいの見込みである。 2000年 768人 →2011年 598人 →2012年 638人 →2020年 676人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	本来県庁舎内に設置すべき組織の受け入れ先として活用していることもあり、余剰スペース等はあまり無いことから、既存のままの有効活用は難しい。 (権限委譲により保健所関係のスペースに余裕があるようにも考えられるが、有効活用が可能かどうかは不明)				
主な設備	建築		電気		機械
	屋根 シート防水 外壁 モルタル吹付、タイル貼、金属板貼 床 モルタル直均し等、ビニル床タイル類、カーペット類、木製フローリング、OAフロア 壁 吹付類、塗装類、壁紙、パーテーション 天井 石膏ボード、吹付類、岩綿吸音板、塗装類	受変電 屋内キュービクル式 発電 ティーゼル 電灯 省エネ型 警報 R/G型、副受信機、非常放送 構内交換 電子交換機 EV 常用EV その他 電気時計、拡声、映像・音響、TV	冷暖房 冷温水方式、エアコン 熱源 直吸取冷温水機 空調 ユニツ形、パツクン形、FC 換気 三種 ポンプ 空調用ポンプ、オイルポンプ 自動制御 中央式監視 給排水 高置水槽、公共下水 給湯 中央式、真空式温水発生装置 ガス 都市ガス 消火 屋内消火栓、連絡送水管、泡消火		
劣化度調査	舗装の不陸、塀のクラック、塗装の剥離、内装材の劣化		特になし		冷温水配管劣化、空調設備(エアコン)フロン不適合
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴	1997.11 外部建具改修工事 2006 屋上防水改修工事 2010.3 エレベーター改修工事 2014 外壁修繕 2020 耐震改修工事、屋上防水改修工事	2000.1 幹線設備改修工事 2002.3 照明器具改修工事 2014.3 自家発、高圧受電設備更新工事 2019.3 放送設備更新工事 2020.3 自火報設備受信機更新	1994.3 冷房機器設置工事(エアコン) 1997.2 機械設備改修工事 1998.12 冷房設置工事(冷温水発生機等) 2010.2 中央監視装置ほか改修工事 2020.7 冷温水配管修繕工事		
直近5年の維持修繕・改修費	計 55,202 R1 1,177,200 H29 1,059 H28 0 H27 0 計 1,233,461	維持修繕 改修 更新 55,202 1,177,200 1,059 0 0 0 0 0 0	計 14,304 10,163 0 0 0 計 24,467	維持修繕 改修 更新 143 14,161 10,163 0 0 0 0 0 0	計 0 0 0 0 0 計 0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	2020年に震改修工事は完了するが、電気設備、機械設備の改修工から20年以上が経過し、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 また、機器等更新に伴い受電容量の見直し等も含め検討が必要。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画の部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・街路改修(工事)	・空調設備更新(設計) ・自動制御設備更新(設計)	・電灯設備更新(設計) ・自火報設備更新(設計) ・空調設備更新(工事) ・熱源設備(OH)	・電力中央監視装置改修(工事) ・自火報設備更新(設計) ・電灯設備更新(工事) ・自火報設備更新(工事) ・熱源設備(OH)	・自動制御設備改修(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:1,029,071千円 内訳 耐震改修工事 (1,021,766千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:12,862千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (3,674千円) 自動制御設備更新工事 設計 (1,903千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:169,988千円 内訳 電灯設備更新工事 設計 (1,815千円) 自火報設備更新工事 設計 (902千円) 空調設備更新工事 (116,508千円) 熱源設備OH (13,000千円) 自動制御設備更新工事 (28,478千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:87,932千円 内訳 電力中央監視装置改修工事(2,037千円) 電灯設備更新工事 (50,836千円) 自火報設備更新工事 (15,274千円) 熱源設備OH (13,000千円) 維持修繕費(7,285千円) 財源:一般財源	計:10,285千円 内訳 自動制御設備改修設計 (3,000千円) 維持修繕費 (7,285千円) 財源:一般財源	合計:1,310,138千円



個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№ 6

施設名／棟名	盛岡地区合同庁舎／別館			財産区分	行政財産
所在地	岩手県盛岡市内丸11番1号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	防火地域	用途地域	商業施設
その他区域					
敷地面積	4,893.54㎡ 建築面積		280㎡	延床面積	1,135.71㎡
構造	RC	階数	地上3階		
竣工年度 (建築年月)	1969年11月		経過年数	R2.4.1現在 51	
利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 ※庁内保育人数要確認				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	1階を庁内保育スペースとして利用				
主な設備	建築		電気		機械
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付、金属板貼 ビニル床タイル類、カーペット類、OAフロア 吹付類、塗装類、ハーティション、ケイカル 吹付類、岩綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内キュービクル式 屋外ディーゼル 省エネ型 R/G形、副受信機、非常放送 電子交換機、VoIPシステム	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火
劣化度調査	階段天井漏水跡		特になし		特になし
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1	104,577		104,577		40,700
H30	0				0
H29	0				0
H28	0				0
H27	0				0
計	104,577	0	104,577	0	40,700

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定／優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	1階庁内保育の整備、2～4階の内装更新、躯体補修、屋上防水改修、空調、衛生設備更新済みである。 ただし、冷温水配管や給排水管は既存のままとなっており、既に標準耐用年数を経過していることから計画的な改修等が必要と思われる。

長寿命化等対策 の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考／合計
対策の内容	庁内保育設置 ・2～4階内装改修					
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:247,858千円 内訳 改修工事 (247,302千円) 維持修繕費 (556千円)	計:556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源:一般財源	計:556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源:一般財源	計:556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源:一般財源	計:556千円 内訳 維持修繕費 (556千円) 財源:一般財源	合計:250,082千円 ※機電は本館に含む
	財源:一般財源					

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	花巻地区合同庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県花巻市花城1-41			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域			
敷地面積	4,060.95㎡ 建築面積		1,453.59㎡	延床面積	3,766.5㎡			
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度(建築年月)	1964年1月		経過年数	R2.4.1現在 56				
利用状況	職員規模は年度により若干の変動はあるが、地方振興局再編前の2000年と比較してもほぼ同じ規模である。2000年 224人 →2011年 210人 →2012年 214人 →2020年 202人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付 Pタイル、木等 石膏ボード、木等 岩綿吸音板等	変電電 発電 電灯 警報 構内交換 その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ型 P型 電子交換機 電気時計設備 テレビ共同受信設備等	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、エアコン 真空式温水発生器、鍍銀製ボイラー ファンコヒーター、パッケージ 三種、一種 空調、オイル 中央監視 加圧送水、自動給水ポンプユニット 中央、局所併用 屋内消火栓、粉末消火		
劣化度調査	壁クラック、フェンス発錆支柱ぐらつき、窓ガラス亀裂、屋外階段発錆		架台の錆、中継端子箱腐食		冷媒配管化粧カバー破損、室外機パネルねじ不良			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1995.10	防水改修工事	1977	電話交換設備取替工事	1996.12	ボイラー改修工事		
	1998.10 2011.12 2018.3	外壁改修工事 耐震改修工事 外壁等改修工事	1992.3 2003 2012.9 2018.2 2019.3	照明器具改修工事 電話交換設備更新工事 自家用発電設備設置工事 自火報設備更新工事 電話交換設備更新工事	2000 2003.10 2019.8	冷房機器設置工事 機械設備改修工事 エアコン改修工事		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				12,290			
H29	99,900		99,900		0			
H28	0				4,658		4,658	
H27	0				0		0	
計	99,900	0	99,900	0	16,948	0	0	16,948

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容			空調設備更新(設計)	自家用発電設備(OH) ・受電設備改修(工事) ・高圧区分開閉器改修(工事)	照明設備改修(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:1,846千円 内訳 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:1,846千円 内訳 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:3,848千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (2,002千円) 維持修繕費(1,846千円) 財源:一般財源	計:114,203千円 内訳 自家発電設備OH (6,225千円) 受電設備改修工事 (5,993千円) 高圧区分開閉器改修工 事 (968千円) 空調設備更新工事 (99,171千円) 維持修繕費(1,846千 円) 財源:一般財源	計:3,661千円 内訳 照明設備改修工事 設 計 (1,815千円) 維持修繕費(1,846千 円) 財源:一般財源	合計:125,404千円

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後56年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には外壁改修、エアコン更新実施済みであるがその他設備・機器も改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	花巻地区合同庁舎(付属棟)		財産区分	行政財産								
所在地	岩手県花巻市花城1-41		施設類型	庁舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	4,060.95㎡	建築面積	174.94㎡	延床面積	345.89㎡							
構造	鉄骨造	階数	2									
竣工年度 (建築年月)	2002年3月		経過年数	18								
			R2.4.1現在									
利用状況	文書庫、物置等として使用を継続している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	文書庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気	機械								
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属 吹付 土間モルタル 石膏ボード 岩綿吸音板等	変圧電 発電 電灯 警報 構内交換 その他	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火								
劣化度調査	内壁一部破損、床クラック											
定期点検	同上											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果 (コメント)	建築より18年経過しているおり、一部クラックなどが見られるが、文書庫、物置としての利用に影響はないもの。今後も継続使用するため、適切な維持管理が求められる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	計:169千円 内訳 維持修繕費(169千円) 財源:一般財源	合計:845千円

個別施設計画(個票)

県庁・合庁 № 9

施設名/棟名	北上地区合同庁舎/本庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県北上市芳町2-8			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域			
その他区域								
敷地面積	5,093.43㎡ 建築面積		939.49㎡ 延床面積		2,422.98㎡			
構造	RC	階数	地上3階					
竣工年度(建築年月)	1966年3月		経過年数	R2.4.1現在 54				
利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。2000年 230人 →2011年 104人 →2012年 102人 →2020年 86人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられるが、老朽化対策が必要と思われる。							
主な設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属、塗膜防水 モルタル吹付、タイル貼 ビニル床タイル類、タイル・石貼 塗装類、木製、パーテーション、石こうボード 岩綿吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋外キュービクル式 屋外ディーゼル 省エネ型 P形、非常ヘル 電子交換機、VoIPシステム 電気時計、拡声、誘導支援、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、FFストーブ、エアコン 真空式温水発生機 コンベクター、ファンコンベクター、パッケージ 三種、一種 空調用ポンプ、温水循環ポンプ 中央式監視、個別 加圧送水、公共水道 中央式、局所式 液化石油ガス 屋内消火栓、不活性ガス消火、粉末		
劣化度調査	クラック、塗装剥離、天井漏水跡		特になし		架台等発錆あり			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1988.8 1992 1993.11 2014.2	煙突等屋上防水改修 改修工事 玄関改修 耐震、外装改修・断屋根塗装・一部議員改修	1990.11 1991.10 2004 2012.9 2015	放送設備改修工事 電気設備改修工事 電話交換機更新 自家発電設備設置 電話交換設備更新	1997.11 2000 2002.3 2004.10 2018.2	本庁舎改修工事 冷房機器設置工事 機械設備改修工事 ガス系消火設備更新		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	0	0	0	0	0	0	0
	H30	0	0	0	0	7,452	0	0
	H29	0	0	0	0	0	7,452	0
	H28	0	0	0	0	0	0	0
	H27	0	0	11,347	0	0	0	11,347
	計	0	0	0	11,347	0	0	11,347
		0	0	0	11,347	7,452	0	7,452

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと築後54年が経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから建て替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・放送設備改修(設計)	・空調設備更新(設計)	・受変電設備改修(工事) ・放送設備更新(工事) ・空調設備更新(工事)	・自火警設備改修(設計) ・自家発電機(0H) 電話交換機停電用蓄電池更新工事	・照明設備改修(設計) ・自火警設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:2,089千円 内訳 放送設備改修工事 設計 (502千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:4,542千円 内訳 空調設備更新工事 設計 (3,355千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:48,310千円 内訳 受変電設備改修工事 (8,205千円) 放送設備更新工事 (7,989千円) 空調設備更新工事 (32,842千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:9,139千円 内訳 自火警設備改修 設計 (902千円) 自家発電機OH (6,225千円) 電話交換機停電用蓄電池 更新工事(825千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	計:13,463千円 内訳 照明設備改修工事 設計 (1,815千円) 自火警設備改修工事 (10,401千円) 維持修繕費 (1,187千円) 財源:一般財源	合計:77,543千円

個別施設計画(個票)

県庁・倉庫棟 10

施設名/棟名	北上地区合同庁舎/倉庫棟			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県北上市芳町2-8			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	285.3㎡	延床面積	285.3㎡							
構造	CB	階数	1									
竣工年度(建築年月)	1966年3月	経過年数	R2.4.1現在	54								
利用状況	北上地区合同庁舎における倉庫として利用している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	当面は、継続して倉庫として利用する見通し											
主な設備	建築	電気	機械									
劣化度調査	クラック、剥離	特になし	室外機カバー破損									
定期点検	同上	同上	同上									
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築後54年経過しており外壁にクラックや剥離が見られることから、適宜修繕・改修や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	→ 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	計:140千円 内訳 維持修繕費(140千円) 財源:一般財源	合計:700千円



個別施設計画(個票)

施設名/棟名	北上地区合同庁舎/附属棟			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県北上市芳町2-8			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	164.03㎡	延床面積	328.06㎡							
構造	S	階数			2							
竣工年度(建築年月)	2000年12月	経過年数	R2.4.1現在		20							
利用状況	勤務する職員規模は、地方振興局再編前の2000年に比較大幅に縮小されている。 2000年 230人 →2011年 104人 →2012年 102人 →2020年 86人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。											
主な設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	Ce直均し等、ビニル床タイル類 吹付類、塗装類、木製、パーテーション 岩綿吸音板等	受変電 発電 電灯 換気 構内交換 その他	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、FFストーブ、エアコン 真空式温水発生機 ファンコベクター、パナソニック 三種 オイルポンプ、温水循環ポンプ 中央式監視、個別 加圧送水、公共水道 中央式、局所式 液化石油ガス 屋内消火栓、不活性ガス消火、粉末							
劣化度調査	クラック、塗装剥離		特になし		エアコン故障							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており故障している機器があることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源:一般財源	計:161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源:一般財源	計:161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源:一般財源	計:161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源:一般財源	計:161千円 内訳 維持修繕費(161千円) 財源:一般財源	合計:805千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	北上地区合同庁舎/犬抑留所			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県北上市芳町2-8			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
敷地面積	5,093.43㎡	建築面積	130.15㎡	延床面積	130.15㎡							
構造	W	階数			1							
竣工年度 (建築年月)	2000年12月		経過年数 R2.4.1現在	20								
利用状況	所管区域内の犬抑留所として利用											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	当面、継続して犬抑留所として利用する見通し											
主な設備	建築		電気		機械							
劣化度調査	特になし		特になし		特になし							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果 (コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、建築から20年経過しており適宜修繕しながら維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源:一般財源	計:64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源:一般財源	計:64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源:一般財源	計:64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源:一般財源	計:64千円 内訳 維持修繕費(64千円) 財源:一般財源	合計:320千円



個別施設計画(個票)

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎 本庁舎			財産区分	行政財産			
所在地	奥州市水沢区大手町1-2			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域			
敷地面積	5,703.77㎡ 建築面積		1,039.25㎡	延床面積	3,010.15㎡			
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度(建築年月)	1967年5月		経過年数	R2.4.1現在 53				
利用状況	職員数は振興局再編前とほぼ同じ規模である。 2000年 175人 →2011年 189人 →2012年 203人 →2020年 180人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付 Pタイル ブロック、木等 岩綿吸音板等	変電室 発電 電灯 警報 構内交換機 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ型 P型 電子交換機 乗用	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火			
劣化度調査	壁クラック、天井材のずれ、側溝の破損、ドレーンの汚れ		外部コンセントカバー外れ		未使用配管の破断、ダクト内に水			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1992.12 1996.3 2012 2014.3 2018.6	外壁改修 屋上防水改修 (震災復旧)改修工事 耐震改修工事 屋根外壁改修工事	2017.3 2018.2 2018.3 2018.12	電話交換機更新 自動火災報知設備更新 放送設備更新 高圧区分開閉器更新工事	2001.12 2018.3 2020.2	空調・衛生・ガス設備改修工事 ガス消火ポンプ更新 自動制御設備更新		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	93,851	93,851			0			17,800
H29	0				17,855		17,855	12,366
H28	0				0			0
H27	0				0			0
計	93,851	93,851	0	0	17,855	0	0	17,855

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後53年が経過していることから建替えや大規模改修等検討の時期である。 建替え等の際には、職員数の少ない分庁舎や江刺分庁舎との複合化などの検討が必要である。
長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・受電設備更新 ・地下タングリング	・空調更新設計	・空調更新工事		・自家発分解整備	
	→ 日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:12,486千円 内訳 受電設備更新 (4,807千円) 地下タングリング (6,204千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:4,170千円 内訳 空調更新設計 (2,695千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:55,812千円 内訳 空調更新工事 (54,337千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:1,475千円 内訳 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	計:16,925千円 内訳 自家発整備 (12,450千円) 昇降機改修設計 (3,000千円) 維持修繕費 (1,475千円) 財源:一般財源	合計:90,868千円 ※分庁舎費用含む

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎 分庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	奥州市水沢区大手町5-5			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内 <b>防火地域</b> 指定なし			用途地域	近隣商業地域							
その他区域												
敷地面積	1,182.96㎡	建築面積	492.2㎡	延床面積	2,078.12㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上3階 地下1階								
竣工年度(建築年月)	1980年9月		経過年数	R2.4.1現在 40								
利用状況	勤務する職員数に増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 49人 →2011年 68人 →2012年 73人 →2020年 66人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はありません。既存のままの有効活用は難しい。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板屋根 一部シフト防水 モルタル吹付 Pタイル RC、木等 若補吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ型 蓄電 電気時計、拡声、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	壁クラック、機械駐車バレットの腐食、天井漏水跡		誘導灯、非常用照明バッテリー切れ、プルボックス腐食		天井換気扇設置不良、受水槽劣化							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2000.9 外壁改修 2019.2 屋根・外壁改修		2017.3 電話交換機更新 2018.2 自動火災報知設備更新 2018.3 放送設備更新 2018.12 高圧区分閉器更新工事		1999 冷房機器設置 2000 暖房用ボイラー移設 2018.3 ガス消火ポンプ更新							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
RI	0				0				0			
H30	48,915		48,915		0				0			
H29	0				17,855			17,855	12,366			12,366
H28	0				0			0	0			0
H27	0				0			0	0			0
計	48,915	0	48,915	0	17,855	0	0	17,855	12,366	0	0	12,366

【優先度評価】

建物性能	高-
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果(コメント)	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。長寿命化で継続使用するには既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。建替え等の際には、本庁舎や職員数の少ない江刺分庁舎との複合化など検討も必要である。
長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	受電設備更新	空調更新設計	空調更新工事	電機交換機停電用蓄電池更新工事		※維持修繕費を除き、本庁舎に費用計上
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:1,018千円 内訳 受電設備更新(※) 地下タカフエンス(※) 維持修繕費(1,018千円)	計:1,018千円 内訳 空調更新設計(※) 維持修繕費(1,018千円)	計:1,018千円 内訳 空調更新工事(※) 維持修繕費(1,018千円)	計:1,843千円 内訳 電機交換機停電用蓄電池更新工事(825千円) 維持修繕費(1,018千円)	計:1,018千円 内訳 維持修繕費(1,018千円)	合計:5,915千円 ※本庁舎に費用計上 上記金額は維持修繕費計
	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産							
所在地	奥州市水沢区大手町1-2			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	5,703.77㎡		建築面積	404.8㎡	延床面積	363.8㎡						
構造	鉄骨造		階数	1								
竣工年度(建築年月)	1980年10月		経過年数	R2.4.1現在 40								
利用状況	ニーズはあるが、駐車バレットの劣化により使用できない部分もある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板 成型セメント板 土間モルタル - -	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	- - - - - 水道直結 - - 不活性ガス消火						
劣化度調査	ガラスの割れ、軒天井の破損・劣化		特に無し		昇降式駐車設備のバレットの腐食							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2018.6	屋根外壁改修工事(塗装のみ)			2017	ガス系消火設備改修工事						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0				0				0			
R1	0				0				0			
H30	93,651		93,651		0				0			
H29	0				0			0	12,366			12,366
H28	0				0			0	0			0
H27	0				0			0	0			0
計	93,651	0	93,651	0	0	0	0	0	12,366	0	0	12,366

(本庁舎と一体)

(本庁舎と一体)

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	軒天井などの外装材や駐車装置などの劣化が著しく、大幅な修繕が必要な状況である。庁舎を使用する限り車庫としてのニーズは継続するものと思われる。

長寿命化等対策の方向性	外装材の劣化や昇降式駐車設備の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	合計:890千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎 付属棟			財産区分	行政財産							
所在地	奥州市水沢区大手町1-2			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	5,703.77㎡ 建築面積		226.8㎡	延床面積	226.8㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	1								
竣工年度 (建築年月)	1967年5月		経過年数	R2.4.1現在 53								
利用状況	物置等として使用を継続している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	庁舎付属の物置として継続使用が想定される。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	塗膜防水 吹付 土間モルタル 仕上無し 仕上無し	変電室 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	天井白華、クラック		特に無し		特に無し							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2018.6 屋根外壁改修工事											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			0
H30	93,651		93,651									
H29	0				0			0	0			0
H28	0				0			0	0			0
H27	0				0			0	0			0
計	93,651	0	93,651	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(本庁舎と一体)

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	築53年が経過し劣化が進行している。倉庫としての利用であるため大きな支障はないが、将来的に庁舎棟や分庁舎への集約も検討が必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	内装等の更新を行っていないため見た目には劣化しているが、H30年度に外装の修繕工事を実施しているため、物置として使用する分には支障がないと思われる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	計:111千円 内訳 維持修繕費(111千円)	合計:555千円
	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	

個別施設計画(個票)

県庁・合庁№ 18

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎/旧館・新館		財産区分	行政財産				
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番		施設類型	庁舎				
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	商業地域			
その他区域								
敷地面積	3,653.85㎡	建築面積	998.92㎡	延床面積	2,618.54㎡			
構造	RC	階数	地上4階					
竣工年度(建築年月)	1964年11月		経過年数	56				
			R2.4.1現在					
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 106人 →2011年 64人 →2012年 58人 →2020年 62人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	執務室を新館若しくは旧館何れかに集約し、余剰スペースを文書庫として県南地区全体で活用する、民間への貸し出しなどが想定できるが、現状でも余剰スペースのほとんどが本庁舎の書庫として使用されていることから有効活用するにあたり書類の整理等が必要。							
主な設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属、シート防水 Co打放+收付 ビニル床タイル類、タイル・石貼 塗装類、壁紙、タイル・石貼、パーテイング、石こうボード 岩綿吸音板等、石綿板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換機 EV その他	屋外キュービクル式 屋外ディーゼル 省エネ型 P形、副受信機 電子交換機 常用EV 電気時計、拡声、TV	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	局所暖(FF等)、局所冷(エアコン等) ユニット、パッケージ 三種、一種 オイルポンプ 中央式監視、個別 加圧送水、公共水道 中央式(FF用) 液化石油ガス 不活性ガス、粉末、消火ポンプ、		
劣化度調査	クラック、塗装剥離、天井漏水跡		発錆		特になし			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1996.3	エレベーター設置		2012.11	電気設備改修工事			
	2000.1	外壁等補修		2015.12	自家発電設置			
2015.1	耐震・外壁補修		2017.3	電話交換機設備更新				
2019.3	屋上防水等		2018.3	拡声設備更新				
			2019.2	自動火災報知設備更新				
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	25,564		25,564		4,362		4,362	
H29	0				0		5,292	5,292
H28	0				8,410		8,410	0
H27	0				38,995		38,995	0
計	25,564	0	25,564	0	51,767	0	51,767	5,292

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	新館、旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 執務室として利用率が低いことから本庁舎との集約の検討も必要である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 有効活用にあたっては、本来の執務室の半分以上が空きスペースとなっている可能性があるが、奥州合庁の書庫となっていることから書類の整理等が必要。
長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・車庫棟改修(工事) ・空調設備改修(工事)		・電話交換機停電用蓄電池更新(工事)			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:44,579千円 内訳 空調設備改修工事(43,296千円) 維持修繕費(1,283千円) 財源:一般財源	計:1,283千円 内訳 維持修繕費(1,283千円) 財源:一般財源	計:1,283千円 内訳 維持修繕費(1,283千円) 財源:一般財源	計:2,108千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事(825千円) 維持修繕費(1,283千円) 財源:一般財源	計:1,283千円 内訳 維持修繕費(1,283千円) 財源:一般財源	合計:50,536千円



個別施設計画(個票)

施設名/棟名	奥州地区合同庁舎江刺分庁舎/車庫A			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県奥州市江刺区大通り148番			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	商業地域							
敷地面積	3,653.85㎡ 建築面積		176.4㎡	延床面積	176.4㎡							
構造	S	階数	地上1階									
竣工年度(建築年月)	1964年11月		経過年数	R2.4.1現在	56							
利用状況	江刺分庁舎に配備する公用車庫として利用											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫として継続して利用											
主な設備	建築		電気		機械							
劣化度調査	雨漏り跡あり、プレース外れ、鉄部腐食、壁クラック、入口部モルタル破損		特になし		機械室駐車場床板鉄板腐食							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	低
劣化度診断	B
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度1
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 ※車庫棟は令和2年度外壁等修繕工事実施

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	車庫棟改修(工事)		日常点検に基づく維持修繕			
概算費用【充当財源(見込)】	計:33,724千円 内訳 車庫棟改修工事(33,638千円) 維持修繕費(86千円) 財源:一般財源	計:86千円 内訳 維持修繕費(86千円) 財源:一般財源	計:86千円 内訳 維持修繕費(86千円) 財源:一般財源	計:86千円 内訳 維持修繕費(86千円) 財源:一般財源	計:86千円 内訳 維持修繕費(86千円)	合計:34,068千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 № 21

施設名/棟名	一関地区合同庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県一関市竹山町7-5			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域							
敷地面積	9,188.28㎡ 建築面積		2,206.82㎡	延床面積	5,273.37㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	4								
竣工年度(建築年月)	1981年6月		経過年数	R2.4.1現在 39								
利用状況	振興局再編前と比較して職員数は約83%と減少しているが、15年前と比較すると横ばいである。 2000年 243人 →2011年 209人 →2012年 218人 →2020年 201人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属、シート防水 コンクリート打放+吹付 Pタイル パーテーション 岩綿吸音板、石綿板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換機 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般形 P型 電子交換機 乗用EV 電気時計設備 テレビ共同受信設備等	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、局所暖房、エアコン 直吸収冷温水機 ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 三種、一種 空調、オイル、揚水 中央監視 高置水槽方式 中央、局所併用 都市ガス 屋内消火栓、不活性ガス、粉末						
劣化度調査	天井雨漏り跡、パーテーションずれ、地盤沈下(敷地内共通)		天井器具(灯具、ガラリ等)のずれ、ハンドホール雨水溜まり		冷却塔架台・配管発錆、換気扇廻り吹込み跡(機械室)							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	1989.12 1992.3 2005.10 2014.12 2020.3	屋根塗装 エレベーター設置他工事 防水シート改修工事 屋根塗装 外壁屋根塗装	2004 2012.3 2020.3	電話交換設備更新工事 自家発電設備更新工事 自火報設備更新工事	1995.3 2005 2018.3 2019.2	冷房機器設置工事 機械設備改修工事 ガス系消火設備更新工事 中央監視装置更新工事						
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	136,861	136,861			0				0			
H30	0				0				25,563			25,563
H29	0				0				8,478			8,478
H28	0				0				0			0
H27	0				0				0			0
計	136,861	136,861	0	0	0	0	0	0	34,041	0	0	34,041

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。長寿命化で継続使用する場合には設備・機器の改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・受変電設備改修(工事) ・高低区分開閉器改修(工事) ・電話設備改修(工事) ・昇降機設備改修(工事) ・地下タンクシロイ工(工事)	昇降機設備改修(工事)		・照明設備更新(工事)	・自家発電OH(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:32,625千円 内訳 高低区分開閉器改修工事 (1,023千円) 受変電設備更新工事 (4,406千円) 電話設備改修工事 (17,875千円) 昇降機設備改修工事設計 (2,367千円) 地下タンクシロイ工(工事) (4,290千円) 維持修繕費 (2,584千円) 財源:一般財源	計:27,620千円 内訳 昇降機設備改修工事 (25,036千円) 維持修繕費 (2,584千円) 財源:一般財源	計:2,584千円 内訳 維持修繕費 (2,584千円) 財源:一般財源	計:52,920千円 内訳 照明設備更新工事 (50,336千円) 維持修繕費 (2,584千円) 財源:一般財源	計:9,272千円 内訳 自家発電設備OH (6,688千円) 維持修繕費 (2,584千円) 財源:一般財源	合計: 125,021千円



個別施設計画(個票)

施設名/棟名	一関地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産
所在地	岩手県一関市竹山町7-5			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域
敷地面積	9,188.28㎡	建築面積	399.7㎡	延床面積	399.7㎡
構造	鉄骨造	階数	1		
竣工年度(建築年月)	1981年6月	経過年数	R2.4.1現在 39		
利用状況	車庫として継続して使用中である。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続すると思われる。				
主な仕様・設備	建築		電気		機械
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板屋根 ALC 土間コンクリート - -	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 - - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火
劣化度調査	-		-		-
定期点検	-		-		-
修繕工事履歴	2020.3	屋根・外壁改修			2020.3
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1	0				0
H30	0				0
H29	0				0
H28	0				0
H27	0				0
計	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎に含む

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には、適宜修繕を行い、維持管理していく必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:196千円 内訳 維持修繕費 (196千円) 財源:一般財源	計:196千円 内訳 維持修繕費 (196千円) 財源:一般財源	計:196千円 内訳 維持修繕費 (196千円) 財源:一般財源	計:196千円 内訳 維持修繕費 (196千円) 財源:一般財源	計:196千円 内訳 維持修繕費 (196千円) 財源:一般財源	合計:980千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	一関地区合同庁舎 附属棟			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県一関市竹山町7-5			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	商業地域							
敷地面積	9,188.28㎡	建築面積	170.46㎡	延床面積	241.21㎡							
構造	鉄骨造	階数	2									
竣工年度(建築年月)	2002年2月	経過年数	R2.4.1現在	18								
利用状況	書庫、会議室、入札室として継続して使用中である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	上記のニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属 Pタイル パーテーション 岩綿吸音板、石綿板等	受変電 発電 電灯 配線 構内交換機 EV その他	キュービクル式 一般形 P型 電子交換機	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	局所暖房、エアコン - - 三種、一種 - - - - 粉末						
劣化度調査	-		-		-							
定期点検	-		-		-							
修繕工事履歴	2020.3 外壁屋根塗装											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※工事費は庁舎を含む

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果(コメント)	書庫、会議室、入札室としてのニーズは継続するものと思われる。外壁改修を実施しており、特別不具合も発生していないことから、適切な維持管理が求められる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎単位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:118千円 内訳 維持修繕費 (118千円) 財源:一般財源	計:118千円 内訳 維持修繕費 (118千円) 財源:一般財源	計:118千円 内訳 維持修繕費 (118千円) 財源:一般財源	計:118千円 内訳 維持修繕費 (118千円) 財源:一般財源	計:118千円 内訳 維持修繕費 (118千円) 財源:一般財源	合計:590千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 旧館			財産区分	行政財産			
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎			
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域			
その他区域								
敷地面積	5,200.62㎡	建築面積	680.82㎡	延床面積	2,008.13㎡			
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度(建築年月)	1964年12月		経過年数	R2.4.1現在 56				
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 187人 →2011年 92人 →2012年 91人 →2020年 88人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 タイル貼り、モルタル改付 Pタイル ブロック、パーティション等 岩綿吸音板、石膏板等	変電電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 兼用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	蒸気方式、エアコン 鑄鉄製ボイラー ファンコベクター、パッケージ 一種 真空給水、オイル 中央監視 加圧送水、自動給水ポンプユニット 屋内消火栓		
劣化度調査	屋上ドレンに雑生、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		プルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ			
定期点検	同上		同上		同上			
修繕工事履歴	1988 2001.3 2013.3 2015.12	改修工事 外部建具改修 防水・外壁改修 耐震改修工事	1988.9 2000.9 2014.12 2016.3 2020.3	受変電、照明、弱電更新 受変電増設 自家発電設備設置 電話交換機更新 自火報設備更新	1988 1996.1 2000 2014.1 2020.9	空調、衛生設備 空調、衛生設備 冷房機器設置 下水道接続 自動制御更新		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	R1	0			14,233	0		
	H30	0			0	0		
	H29	0			0	0		
	H28	0			0	0		
	H27	94,821	94,821		10,648	0	10,648	
	計	94,821	0	94,821	24,881	0	0	24,881

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上が経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容		・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕工事			
		→ 日常点検に基づく維持修繕				
概算費用【充当財源(見込)】	計:984千円 内訳 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:5,978千円 内訳 屋根外壁工事設計(4,994千円) 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:125,081千円 内訳 屋根外壁工事(124,097千円) 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:984千円 内訳 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	計:984千円 内訳 維持修繕費(984千円) 財源:一般財源	合計:134,011千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 № 25

施設名/棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 新館			財産区分	行政財産							
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	5,200.62㎡		建築面積	529.89㎡								
延床面積			延床面積	1,485.59㎡								
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3								
竣工年度(建築年月)	1988年9月		経過年数	R2.4.1現在 32								
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約47%であり、今後増減はあるが、横ばいの見込みである。 2000年 187人 →2011年 92人 →2012年 91人 →2020年 88人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	多くのスペースが倉庫スペースとして使用されており、余剰面積が発生している状態と思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水、折板屋根(渡り廊下) タイル貼り、モルタル吹付 Pタイル 石こうボード、パーテーション等 岩綿吸音板、石綿板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 乗用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	屋上パラベット立上り凍害、防水シート劣化、内部仕上漏水跡		ブルボックス発錆		水槽マンホール廻りモルタル割れ							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴			2000.9 受変電増設 2014.12 自家発電設備設置 2016.3 電話交換機更新 2020.3 自火報設備更新	1996.1 空調、衛生設備 2000 冷房機器設置 2014.1 下水道接続 2020.9 自動制御更新								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233				14,233	0		
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				10,648				10,648	0		
計	0	0	0	0	24,881	0	0	0	24,881	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は減少傾向の見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低く、余剰面積があることから、新館・旧館どちらかを全面改修した上での集約なども検討課題である。
長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で旧館及び新館の今後の耐用年数を見極め、性能が高い棟に集中的に長寿命化工事を実施することで執務室の集約を検討する。 長寿命化する部分を選択することで、維持費用の低減に努める。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容		・昇降機改修設計 ・空調設備更新設計	・電話交換機蓄電池更新 ・放送用設備更新 ・昇降機改修工事 ・空調設備更新工事	・受変電設備改修 ・放送用設備更新設計	・自家発電OH ・放送用設備更新工事 ・空調設備更新設計	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:728千円 内訳 維持修繕費(728千円) 財源:一般財源	計:5,711千円 内訳 昇降機改修(2,629千円) 空調設備更新設計(2,354千円) 維持修繕費(728千円) 財源:一般財源	計:63,310千円 内訳 内訳 電話交換機蓄電池更新(829千円) 昇降機改修工事(35,715千円) 空調設備更新(26,042千円) 維持修繕費(728千円) 財源:一般財源	計:6,674千円 内訳 受変電設備改修(5,044千円) 放送用設備更新設計(902千円) 維持修繕費(728千円) 財源:一般財源	計:14,939千円 内訳 自家発電OH(6,223千円) 放送用設備更新工事(7,986千円) 維持修繕費(728千円) 財源:一般財源	合計:91,362千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	一関地区合同庁舎 千厩分庁舎 車庫			財産区分	行政財産							
所在地	一関市千厩町千厩字北方85-2			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	5,200.62㎡ 建築面積		231.99㎡	延床面積	231.99㎡							
構造	鉄骨造	階数	1									
竣工年度(建築年月)	1988年9月	経過年数	R2.4.1現在		32							
利用状況	車庫として継続して使用中である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板屋根 ALC 土間コンクリート -	変電電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般型 -	冷暖房 熱源 空調 換気 ホブ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	鉄部発錆		-	-	-							
定期点検	同上		-	-	-							
修繕工事履歴			2020.3	自火報設備更新(庁舎工事に付随)								
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				14,233				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	14,233	0	0	14,233	0	0	0	0

(庁舎工事含む)

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果(コメント)	駐車場としてのニーズは継続すると思われる。鉄部等に発錆が見られるため、塗装等の改修を行えば、当面継続使用可能である。

長寿命化等対策の方向性	庁舎の今後の整備方針に応じて長寿命化を検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:114千円 内訳 維持修繕費 (114千円) 財源:一般財源	計:114千円 内訳 維持修繕費 (114千円) 財源:一般財源	計:114千円 内訳 維持修繕費 (114千円) 財源:一般財源	計:114千円 内訳 維持修繕費 (114千円) 財源:一般財源	計:114千円 内訳 維持修繕費 (114千円) 財源:一般財源	合計:570千円

個別施設計画(個票)

県庁・合庁№ 27

施設名/棟名	大船渡地区合同庁舎 庁舎棟			財産区分	行政財産
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 防火地域 指定なし			用途地域	第二種住居地域
その他区域	土地区画整理事業区域				
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	1,142.76㎡	延床面積	4,764.34㎡
構造	鉄筋コンクリート造		階数	4	
竣工年度(建築年月)	1974年11月		経過年数	R2.4.1現在 46	
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増したのち減少傾向にあり、震災前とほぼ同じ規模にある 2000年 251人 →2011年 234人 →2012年 329人 →2020年 240人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。				
主な仕様・設備	建築		電気		機械
	屋根 シート防水 外壁 タイル貼り、珪藻土吹付 床 Pタイル 壁 塗装、壁紙等 天井 岩綿吸音板、壁紙、塗装等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般型、非常用照明電池別置形 自火報P型、非常ベル 電子交換機、VoIPシステム 兼用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給湯 ガス 消火	冷水方式、エアコン 直吸冷温水機 三種 空調用、オイル用 中央監視 高置水槽 中央式、真空式温水発生器 液化石油 屋内消火栓
劣化度調査	舗装不陸、ク羅斯のはがれ、壁・床クラック、床タイル剥がれ			-	
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴	1993.2 屋上防水、外壁改修 2009.5 耐震改修 2012 修繕工事(震災被災箇所) 2020.3 屋上防水、外壁改修工事	2003 2010.12 2016.1 2015 2019.3	電話交換設備更新 自家用発電設備設置 太陽光発電設備設置 放送設備更新 電話交換設備更新	1995.1 1999.12 2004 2019.2 2020.3	冷房機器設置 空調、衛生設備改修 地下タンク更新 中央監視更新 衛生設備接続
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1	109,006	109,006			20,471
H30	0				27,194
H29	0				0
H28	0				0
H27	0				0
計	109,006	109,006	0	0	47,665

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	職員数は震災の影響で増加し、減少傾向であったが現在は震災前とほぼ同じ規模で今後減少の見込み。
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度3
評価結果(コメント)	耐震改修や外装の改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、内装仕上りの劣化等が目立つことから大規模改修等を検討する時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・自火報更新工事	・受電設備更新	・照明更新設計 ・昇降機改修設計	・照明更新工事 ・昇降機改修工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:9,430千円 内訳 自火報更新(7,095千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:6,554千円 内訳 受電設備(4,219千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:6,779千円 内訳 照明更新設計(1,815千円) 昇降機改修設計(2,629千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:94,964千円 内訳 自家発電補修(6,578千円) 照明更新(50,336千円) 昇降機改修(35,715千円) 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	計:2,335千円 内訳 維持修繕(2,335千円) 財源:一般財源	合計:120,062千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	大船渡地区合同庁舎 ボイラー室			財産区分	行政財産							
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
その他区域	土地区画整理事業区域											
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	120㎡	延床面積	120㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	1								
竣工年度 (建築年月)	1974年11月		経過年数	R2.4.1現在 46								
利用状況	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、必要な建物である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	現庁舎を継続使用する限り、又は、冷暖房のシステムを全面更新しない限り必要な建物である。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 シート防水 外壁 コンクリート塗装 床 土間モルタル 壁 コンクリート打ち放し 天井 コンクリート打ち放し	変電電 発電 電灯 一般型 警報 構内交換 EV その他	- - - - - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷水方式、エアコン 直吸冷温水機 三種 空調用、オイル用 中央監視 高置水槽 中央式、真空式温水発生器 液化石油 屋内消火栓							
劣化度調査	特に無し		特に無し		特に無し							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2020.3 屋上防水、外壁改修工事				1995.1 冷房機器設置 1999.12 空調、衛生設備改修 2004 地下タンク更新 2019.2 中央監視更新							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				0			
H30	0				0				27,194			27,194
H29	0				0				0			0
H28	0				0				0			0
H27	0				0				0			0
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	27,194	0	0	27,194

(庁舎工事と一体)

(庁舎工事と一体)

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	庁舎に準ずる
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果 (コメント)	庁舎の冷暖房を担うボイラーの上屋であるため、庁舎が存続する限りは継続して必要となる。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施していることから、当面の継続使用に支障はないと思われる。庁舎の熱源ボイラーを格納する施設であるため、今後の庁舎の整備方針に応じて長寿命化や建替え等の検討を行うこととする。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	計:59千円 内訳 維持修繕費(59千円) 財源:一般財源	合計:295千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№ 29

施設名/棟名	大船渡地区合同庁舎 車庫A			財産区分	行政財産							
所在地	大船渡市猪川町字前田6番1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
その他区域	土地区画整理事業区域											
敷地面積	8,584.3㎡	建築面積	851.16㎡	延床面積	851.16㎡							
構造	鉄骨造	階数			1							
竣工年度(建築年月)	1974年11月	経過年数	R2.4.1現在		46							
利用状況	公用車庫として利用率が高い。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは高く、他の利用は見込めない。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根	折板屋根	受変電	-	冷暖房	-						
	外壁	コンクリートブロック+吹付	発電	-	熱源	-						
	床	土間モルタル	電灯	一般型	空調	-						
	壁	コンクリートブロック+塗装	警報	-	換気	換気扇						
	天井	-	構内交換	-	ポンプ	-						
			EV	-	自動制御	-						
			その他	-	給排水	水道直結						
					給湯	-						
					ガス	-						
				消火	-							
劣化度調査	特に無し		特に無し		特に無し							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2020.3 屋上防水、外壁改修工事											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	109,006	109,006			0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	109,006	109,006	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(庁舎工事と一体)

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	車庫のニーズは継続するものと思われる。
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果(コメント)	築年数は経過しているが、利用率も高く、令和元年度に屋根外壁の改修工事も実施しているため、当面使用は可能と思われる。

長寿命化等対策の方向性	令和元年度に外装の修繕工事を実施しているため、必要最小限の維持修繕工事を行うことで、当面継続使用が可能と思われる。今後、庁舎の整備方針に応じて、大規模改修や建替え等の検討を行うこととする。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕費(417千円) 財源:一般財源	合計:2,085千円







個別施設計画(個票)

施設名/棟名	遠野地区合同庁舎(旧館・新館)			財産区分	行政財産
所在地	遠野市六日町1-22			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域 指定なし		用途地域	第二種住居地域
敷地面積	7,410.8㎡	建築面積	1,000.43㎡	延床面積	3,272.79㎡
構造	RC		階数	地上4階	
竣工年度(建築年月)	1966年7月	経過年数	R2.1現在 53年		
利用状況	振興局再編前と比較すると職員数は約60%。 2000年 205人 →2011年 147人 →2012年 152人 →2020年 76人				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	振興局再編前と比較すると職員数は約37%であり余剰スペースは見込めるためスペースの有効活用は可能と考えられる。必要に応じて、市町村担当課の執務スペースとして貸し付けるなどの有効活用を検討する。				
主な設備	①建築設備 ・屋根シート防水 ・外壁モルタル塗	②電気設備 ・受変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター	③機械設備 ・鑄鉄製ボイラー ・パッケージ型エアコン ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・液化石油ガス ・消火設備		
劣化度調査	①建築設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	②電気設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。	③機械設備 経年劣化による機能低下が進行しており、総合的な改修が必要。		
定期点検	①建築設備 ・水切りシーリング劣化 ・雨漏り跡 ・駐車場パレット腐食	②電気設備 ・キュービクル通風孔閉塞	③機械設備 ・ロスナイ故障		
修繕工事履歴	①建築設備 ・屋上防水補修(1987) ・エレベーター設置(1994) ・外壁改修(1996) ・耐震改修(2016)	②電気設備 ・自家発電機改修(2012) ・照明設備改修(2019) ・電話交換機設備更新(2019)	③機械設備 ・給排水等設備設置(1994) ・冷房機器設置(2000) ・ガス系消火設備更新(2018)		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1					39,290
H30					
H29	135,877		135,877		
H28					
H27					
計	135,877		135,877		39,290

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	高
見通し	無
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修	優先度2			
評価結果(コメント)	新館旧館共に耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、旧館は築後50年以上経過し、コンクリートの法定耐用年数を経過していることから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用するには既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。 執務室として利用率が低いことから新館、旧館の集約・施設余剰スペースの有効活用についての検討や転用・複合化の可能性についての検討も課題である。				

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎単位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・放送設備ほか更新工事	・受変電設備更新工事	・屋根外壁修繕設計	・屋根外壁修繕 ・自家発電設備更新工事ほか	・昇降設備更新工事	
	→ 日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:14,078千円 内訳 放送設備ほか更新工事(12,474千円) 維持修繕費(1,604千円) 財源:一般財源	計:7,709千円 内訳 受変電設備更新工事(6,105千円) 維持修繕費(1,604千円) 財源:一般財源	計:9,211千円 内訳 屋根外壁修繕設計(5,000千円) 空調設備更新設計(2,607千円) 維持修繕費(1,604千円) 財源:一般財源	計:178,418千円 内訳 屋根外壁修繕工事(134,320千円) 受変電設備工事(968千円) 自家発電設備更新工事(6,578千円) 空調設備更新工事(32,119千円) 維持修繕費(1,604千円) 昇降機更新工事設計(2,629千円) 財源:一般財源	計:39,604千円 内訳 昇降設備更新工事(38,000千円) 維持修繕費(1,604千円) 財源:一般財源	合計:249,020千円



個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 34

施設名/棟名	釜石地区合同庁舎/旧館			財産区分	行政財産
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎
都市計画区域	都市計画区域内 <b>防火地域</b> 準防火地域			用途地域	第一種住居地域
その他区域					
敷地面積	7,367.25㎡	建築面積	1,020.86㎡	延床面積	3,863.92㎡
構造	RC		階数	地上4階	
竣工年度(建築年月)	1978年3月		経過年数	R2.4.1現在 42	
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。				
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。				
主な設備	建築		電気		機械
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 Co打放+吹付、タイル貼 ビニル床タイル類 Co打放+吹付、壁紙、タイル・石貼、ハーティオン 石こうボード、岩綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋外形 屋外ディーゼル 一般形 P形、副受信機、非常放送 電子交換機、VoIP 常用EV 電気時計、拡声、TV	冷暖房 冷温水(中央式)、局所(FF、エアコン) 熱源 直吸収冷温水機 空調 ユニット、ファンコイルユニット 換気 三種、一種 ポンプ 空調用ポンプ、オイルポンプ 自動制御 中央式監視 給排水 加圧送水、公共水道、公共下水 給湯 局所式(ガス)、貯湯式電気温水器 ガス 都市ガス 消火 屋内消火栓、粉末消火
劣化度調査	土砂溜まり、発錆、クラック、天井雨漏り跡		特になし		特になし
定期点検	同上		同上		同上
修繕工事履歴	1992.12	自動扉設置	2001	電話交換設備更新	
	1995.7	既存機改修	2010.11	給排水改修	
2004.1	防水改修	2012.3	自家発電設置		
2011.1	耐震・外壁補修	2014.3	太陽光発電設備設置		
2013.7	外壁補修工事	2018.3	電話交換設備更新		
直近6年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計
R1	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0
H29	0	0	12,960	0	12,960
H28	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	12,960

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用するには既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・屋根外壁修繕(工事) ・自火報設備改修(設計)	・自動制御設備改修(設計・工事)	・自家発電設備OH ・自火報設備改修(工事)	・受変電設備改修(工事) ・太陽光発電改修(設計工)	・電話交換設備停電用蓄電池更新(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:170,397千円 内訳 屋根外壁修繕工事 (167,602千円) 自火報設備改修工事設計 (902千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:33,089千円 内訳 自動制御設備改修工事 (31,196千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:18,579千円 内訳 自家発電設備OH (6,225千円) 自火報設備改修工事 (10,464千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:38,363千円 内訳 受変電設備改修工事 (5,914千円) 太陽光発電改修工事 (30,556千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	計:2,993千円 内訳 電話交換設備停電用蓄電池更新工事(1,100千円) 維持修繕 (1,893千円) 財源:一般財源	合計:263,421千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎 № 35

施設名/棟名	釜石地区合同庁舎/新館			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火区域内	用途地域	第一種居住地域							
敷地面積	7,367.25㎡ 建築面積		479.91㎡	延床面積	1,663.11㎡							
構造	RC	階数	地上4階									
竣工年度(建築年月)	1995年8月			経過年数	25							
				R2.4.1現在								
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。 2000年 217人 →2011年 201人 →2012年 272人 →2020年 263人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。											
主な設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 Oo打放+收付 モルタル直均し等、ビニル床タイル類 壁紙、ハーティオン 岩綿吸音板、金属製	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋外形 屋外ディーゼル 一般形 P形、副受信機 電子交換機 常用EV 電気時計設備、拡声、TV	冷暖房 冷温水(中央)、局所(FF、エアコン) 熱源 直吸収冷温水機 空調 ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 換気 三種 ポンプ 自動制御 中央式監視制御 給排水 加圧送水、公共水道、公共下水道 給湯 局所式、ガス、貯湯式電気温水器 ガス 都市ガス 消火 消火ポンプ							
劣化度調査	土砂溜まり、排水不良、クラック、塗装剥離、雨漏り跡		特になし		特になし							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴	2013 構内舗装工事											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修が必要な旧館は耐震改修済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:815千円 内訳 維持修繕費(815千円) 財源:一般財源	計:815千円 内訳 維持修繕費(815千円) 財源:一般財源	計:815千円 内訳 維持修繕費(815千円) 財源:一般財源	計:815千円 内訳 維持修繕費(815千円) 財源:一般財源	計:815千円 内訳 維持修繕費(815千円) 財源:一般財源	合計:4,075千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	釜石地区合同庁舎/公用車庫A			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
敷地面積	7,367.25㎡ 建築面積		371㎡	延床面積	371㎡							
構造	S	階数	地上1階									
竣工年度(建築年月)	1978年3月		経過年数	R2.4.1現在	42							
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。											
主な設備	建築		電気	機械								
劣化度調査	屋根鉄骨部発錆		特になし	特になし								
定期点検	同上		同上	同上								
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:182千円 内訳 維持修繕費(182千円) 財源:一般財源	計:182千円 内訳 維持修繕費(182千円) 財源:一般財源	計:182千円 内訳 維持修繕費(182千円) 財源:一般財源	計:182千円 内訳 維持修繕費(182千円) 財源:一般財源	計:182千円 内訳 維持修繕費(182千円) 財源:一般財源	合計:910千円

個別施設計画(個票)

県庁・庁舎№ 37

施設名/棟名	釜石地区合同庁舎/車庫B・倉庫			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県釜石市新町6番50号			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域							
敷地面積	7,367.25㎡		建築面積	336㎡	延床面積	623㎡						
構造	S	階数	地上2階									
竣工年度(建築年月)	1978年3月		経過年数	R2.4.1現在 42								
利用状況	震災後2012年からの職員数の増は、震災復興への対応であるため、今後の復興の進捗状況によっては震災前の規模に戻る可能性もある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペースはあまりない状況である。											
主な設備	建築		電気		機械							
劣化度調査	天井ロックウール落下軒天塗装剥離、手すり発錆、外部階段発錆		特になし		特になし							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	長寿命化で継続使用する場合には既に標準耐用年数を経過している設備もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	計:305千円 内訳 維持修繕費(305千円) 財源:一般財源	合計:1,525千円



個別施設計画(個票)

施設名/棟名	宮古地区合同庁舎		財産区分	行政財産				
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番		施設類型	庁舎				
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域			
敷地面積	9,379.05㎡ 建築面積		1,878.38㎡	延床面積	5,196.81㎡			
構造	鉄筋コンクリート造		階数	3				
竣工年度(建築年月)	1979年3月		経過年数	R2.4.1現在 41				
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。減少傾向にあるが、現在はまだ震災前の規模に戻っていない。 2000年 296人 →2011年 267人 →2012年 326人 →2020年 288人							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。							
主な仕様・設備	建築		電気		機械			
	屋根 外壁 床 壁 天井	金属 コンクリート打放+吹付 Pタイル パーテーション 岩綿吸音板、吹付類	受変電 発電 電灯 配線 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 一般形、省エネ型 乗用EV 電気時計設備 テレビ共同受信設備等	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、エアコン 直吸収冷温水機 ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 三種、一種 空調、オイル、湯水 中央監視 高置水槽方式、加圧送水方式 局所式		
劣化度調査	鉄骨塗剥離・錆跡、外壁浮き(塔屋)、天井材外れ、敷地全体地盤沈下、防水シート剥がれ(機械棟)		非常灯不点灯箇所あり					
定期点検	同上		同上					
修繕工事履歴	1992.3 2002.11 2012 2015.4	エレベーター設置他工事 屋上防水等改修工事 クラック補修、舗装補修等(震災被災) 置き屋根塗装改修	2003 2012.3 2012.3 2015.3 2017.2	電話交換機設備更新工事 非常放送用設備更新工事 自家発電設備改修工事 電話交換機設備更新工事 自火報設備更新工事	1995.3 2004 2018.2 2018.11	冷房機器設置工事 空調・臭世知設備改修工事 ガス系消火設備更新工事 地下タンク内面FRPプライング工事		
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0			
H30	0				3,834			3,834
H29	0				8,046			8,046
H28	0			3,534	0			3,534
H27	20,956		20,956	0	0			0
計	20,956	0	20,956	0	3,534	11,880	0	11,880

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は当面横ばいの見通し
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は不要であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないことから大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合に既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当分は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオ・ホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・自動制御設備改修(工事) ・別棟設備改修(工事)	・電話交換機停電用蓄電池更新(工事)	・受変電設備改修(工事) ・高圧区分閉器改修(工事) ・自家発電設備(OH)	・自家発電設備用蓄電池更新(工事) ・照明設備改修(工事)	・屋根外壁修繕(設計)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:43,510千円 内訳 内訳 計:11,110千円 昇降機設備改修工事(29,854千円) 維持修繕費(2,546千円)	計:3,371千円 内訳 電話交換機停電用蓄電池更新工事(825千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:13,830千円 内訳 高圧区分閉器改修工事(968千円) 受変電設備更新工事(4,091千円) 自家発電設備OH(8,225千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:53,345千円 内訳 自家発電設備用蓄電池更新(463千円) 照明設備改修工事(50,336千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	計:9,267千円 内訳 屋根外壁修繕工事(6,721千円) 維持修繕費(2,546千円) 財源:一般財源	合計:123,323千円
	財源:一般財源					

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	宮古地区合同庁舎 倉庫			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎							
都市計画区域	内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	9,379.05㎡	建築面積	164.02㎡	延床面積	298.62㎡							
構造	鉄骨造り	階数	2									
竣工年度(建築年月)	1979年3月	経過年数	R2.4.1現在 41									
利用状況	物置、事務室(労働委員会)として利用している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	現状の利用方法のほか、有効活用は難しい。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板金属 吹付 土間モルタル 石膏ボード 石綿吸音板等	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形、省エネ型 - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	地盤沈下											
定期点検	同上											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】	
建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	中
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	1

【総合判定】	
総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	建物周りの地盤沈下が進行している。物置及び労働委員会の事務室としてのニーズはあるが、庁舎に集約などの検討は必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源:一般財源	計:146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源:一般財源	計:146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源:一般財源	計:146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源:一般財源	計:146千円 内訳 維持修繕費 146千円 財源:一般財源	合計:730千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	宮古地区合同庁舎 車庫			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	9,379.05㎡ 建築面積		544.14㎡	延床面積	544.14㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	1								
竣工年度(建築年月)	1979年3月		経過年数	R2.4.1現在 41								
利用状況	車庫として使用を継続している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	折板金属 ALD 土間コンクリート -	変電電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	すり付け不良		-		ハレット発錆、腐食、換気扇不良、ガス消火ガス管発錆							
定期点検	同上		-		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	建物、設備ともに劣化が見られ、駐車ハレットは毎年修繕を実施している。駐車場としてのニーズは継続するため、引き続き修繕を実施する必要がある。また、更新計画について、検討が必要。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:267千円 内訳 維持修繕費(267千円) 財源:一般財源	計:267千円 内訳 維持修繕費(267千円) 財源:一般財源	計:267千円 内訳 維持修繕費(267千円) 財源:一般財源	計:267千円 内訳 維持修繕費(267千円) 財源:一般財源	計:267千円 内訳 維持修繕費(267千円) 財源:一般財源	合計:1,335千円

個別施設計画(個票)

黒庁・合同№. 41

施設名/棟名	宮古地区合同庁舎 機械室			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県宮古市五月町2丁目7番			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	9,379.05㎡		建築面積	149㎡	延床面積	149㎡						
構造	鉄筋コンクリート造		階数	1								
竣工年度 (建築年月)	1979年3月		経過年数	R2.4.1現在 41								
利用状況	機械室として継続して使用中である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	庁舎機能維持のため、ニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 コンクリート打放+吹付 土間コンクリート - -	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 - 一般形 - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷水方式、エアコン 直吸収冷水機 ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 三種、一種 空調、オイル、揚水 中央監視 - - - 粉末						
劣化度調査	屋上シート防水劣化・剥がれ、外壁塗装剥離 ポーチモルタル剥離		-		-							
定期点検	同上		-		-							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用率	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	需要は継続
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	屋上防水が劣化してきているため、修繕の検討が必要。長寿命化で継続使用する場合には、既に標準耐用年数を超過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーバーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	計:73千円 内訳 維持修繕費 (73千円) 財源:一般財源	合計:365千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	岩泉地区合同庁舎 庁舎棟			財産区分	行政財産							
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番3			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域						
その他区域												
敷地面積	4,213.64㎡	建築面積	592.32㎡	延床面積	2,414.05㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	4								
竣工年度(建築年月)	1968年3月	経過年数	R24.1現在	52								
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの台風災害の復旧対応で増加傾向にあるが、復旧が完了した後については、組織の規模縮小が見込まれる。 2000年 76人 →2011年 57人 →2016年 89人 →2020年 96人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	組織規模の縮小及び物置等の整理により、余剰スペースを生み出すことは可能と思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 モルタル吹付 Pタイル、モルタル直均し、石張等 塗装、壁紙等 岩綿吸音板、吹付等	変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	キュービクル式 ディーゼル 省エネ、LED型 自火報P型、非常ベル 電子交換機 兼用 電気時計、拡声、TV共同受信	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	温水方式、エアコン 真空式温水発生器 ファンコクター、パネルヒーター 一種、三種 空調用、オイル用 個別制御 加圧送水 局所式、ガス湯沸器、電気温水器 液化石油 屋内消火栓						
劣化度調査	外構手摺コンクリートクラック、床・壁クラック、Pタイル垂み、パーティション垂み等											
定期点検	同上											
修繕工事履歴	1993.11	自動扉設置	1990.12	照明改修	1992.1	油配管改修						
	1995.12 2000.11 2017.3	外壁改修 屋上防水改修 耐震、外壁、防水改修	1994.3 2015.12 2018.3 2018.3	冷房機器設置電気工事 自家用発電設備設置 電話交換設備更新 電話交換設備更新	1994.1 2000.9 2000.11 2003.3	ボイラー改修 冷房機器設置 空調設備改修 下水道切替						
面近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				5,783				5,783	0		
H30	0				0				0			
H29	219,788		219,788		10,799			10,799	0			
H28	0				0			0	0			
H27	0				32,989			32,989	0			
計	219,788	0	219,788	0	49,571	0		32,989	16,582	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	職員数は増加傾向にあるが、台風災害の復旧が完了した後については、職員数の縮小が見込まれる。
2次評価	1

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果(コメント)	耐震改修は実施済であるが、2次部材及び設備の地震対策がとられていないこと、築後52年経過し内装仕上げの劣化も目立つことから建替えや大規模改修等検討の時期である。 長寿命化で継続使用する場合には改修工事等から20年程度経過し、既に標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、適宜修繕や更新の計画を検討する必要がある。

長寿命化等対策の方向性	コンクリート強度など劣化状況の調査を行った上で、今後の耐用年数を見極めることとする。それまでは、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	自火報設備更新(設計)		自火報設備更新(工事)	空調設備更新(設計)	電話交換設備停電用蓄電池更新(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計: 1,183千円 内訳: 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 1,183千円 内訳: 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 7,398千円 内訳: 自火報設備更新工事(6,215千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 2,855千円 内訳: 空調設備更新工事 設計 (1,672千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	計: 23,499千円 内訳: 電話交換設備停電用蓄電池更新工事(625千円) 空調設備更新工事(21,491千円) 維持修繕費(1,183千円) 財源: 一般財源	合計: 36,118千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	岩泉地区合同庁舎 車庫棟			財産区分	行政財産							
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋24番3			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域							
敷地面積	4,213.64㎡	建築面積	375㎡	延床面積	375㎡							
構造	鉄骨造	階数	1									
竣工年度 (建築年月)	1968年3月	経過年数	R2.4.1現在		52							
利用状況	車庫として継続使用している状況である。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	車庫としてのニーズは継続するものと思われる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	波板スレート ALC 土間モルタル - -	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	- - 一般形 - - -	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 加圧送水 給湯 ガス 消火							
劣化度調査	屋根スレートの劣化、外壁の割れ、クラック		特に無し		特に無し							
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0			0	0			0	0			0
H30	0			0	0			0	0			0
H29	0			0	0			0	0			0
H28	0			0	0			0	0			0
H27	0			0	0			0	0			0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	修繕・改修
重要性	必要な施設
見通し	ニーズは継続
2次評価	I

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 / 優先度2
評価結果 (コメント)	施設の劣化は進行しているが、車庫としてのニーズは継続するものと思われる。敷地内に土木部の車庫などもあることから、集約なども視野に検討が必要と思われる。

長寿命化等対策の方向性	外装材の劣化が著しく、継続使用するためには全面的な修繕が必要となる。長寿命化については、庁舎の今後の整備方針に応じて検討する必要があるため、必要最小限の維持修繕工事を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用 【充当財源(見込)】	計: 184千円 内訳 維持修繕費(184千円) 財源: 一般財源	計: 184千円 内訳 維持修繕費(184千円) 財源: 一般財源	計: 184千円 内訳 維持修繕費(184千円) 財源: 一般財源	計: 184千円 内訳 維持修繕費(184千円) 財源: 一般財源	計: 184千円 内訳 維持修繕費(184千円) 財源: 一般財源	合計: 920千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	久慈地区合同庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	久慈市八日町1-1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	14,720.69㎡ 建築面積		1791.25㎡	延床面積	8147.45㎡							
構造	SRC	階数	地上8階									
竣工年度(建築年月)	1998年10月1日			経過年数	R2.4.1現在 21							
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、震災後一時期急増した。現在減少傾向にあるものの震災前の規模には戻っていない。 2000年 298人 →2011年 243人 →2012年 271人 →2020年 257人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、既存のままの有効活用は難しい。 必要に応じて、閉庁日に駐車場を開放するなど敷地の有効活用に努めている。											
主な設備	①建築設備 ・屋根シート防水 ・外壁タイル貼	②電気設備 ・変電キュービクル ・自家発電機 ・無停電電源装置 ・電話交換機設備 ・構内放送設備 ・エレベーター	③機械設備 ・直吸収冷温水機 ・ファンコイルユニット ・各種ポンプ類 ・各種タンク類 ・温水発生機 ・消火設備									
劣化度調査	①建築設備 未調査	②電気設備 未調査	③機械設備 未調査									
定期点検	①建築設備 ・屋上防水劣化 ・外壁タイル劣化 ・駐車場屋上排水溝詰まり	②電気設備	③機械設備 ・機械室吸収音板結露									
修繕工事履歴	①建築設備	②電気設備	③機械設備									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高(新)			
劣化度診断	A			
利用度	高			
1次評価	維持管理			
重要性	高			
見通し	無			
2次評価	1			

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理	優先度3		
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後21年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。			

長寿命化等対策の方向性	築後22年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器もあることから、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	・放送設備更新(工事) ・電話交換機更新(工事)	・屋上部分修繕(工事) ・自動制御設備更新(工事)	・自家発電設備(OH)	・屋根外壁改修(設計) ・電力中央監視装置改修(工事) ・電灯設備更新(工事) ・自火報更新(工事)	・屋根外壁改修(工事) ・変電設備改修(工事)	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:43,603千円 内訳 放送設備更新工事 (19,745千円) 電話交換機設備更新工事 (19,866千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:44,960千円 内訳 屋上防水部分修繕 (9,552千円) 自動制御設備更新工事 (31,416千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:33,582千円 内訳 自家発電設備OH (29,590千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:80,175千円 内訳 屋根外壁設計 (8,536千円) 電力中央監視装置 改修工事 (2,037千円) 電灯設備更新工事 (50,336千円) 自火報設備更新工事 (15,274千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	計:137,541千円 内訳 屋根外壁工事 (131,512千円) 変電設備改修工事 (2,037千円) 維持修繕費 (3,992千円) 財源:一般財源	合計:339,861千円

個別施設計画(個票)

県庁・倉庫№ 45

施設名/棟名	久慈地区合同庁舎(立体駐車場)			財産区分	行政財産							
所在地	久慈市八日町1-1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	203.61㎡	延床面積	1,112.99㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上1階								
竣工年度(建築年月)	1999年10月		経過年数	R2.4.1現在 21								
利用状況	駐車場として利用されている。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も駐車場として利用されることが想定される。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
劣化度調査												
定期点検												
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	IV

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果(コメント)	長期に亘り公用車を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。
-------------	------------------------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容					屋根・外壁改修工事ほか	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:646千円 維持修繕費(646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費(646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費(646千円) 財源:一般財源	計:646千円 維持修繕費(646千円) 財源:一般財源	計:646千円 内訳 屋根外壁改修工事(工事費は庁舎を含む) 維持修繕費(646千円) 財源:一般財源	合計:3,230千円



個別施設計画(個票)

県庁・倉庫№ 46

施設名/棟名	久慈地区合同庁舎(倉庫)			財産区分	行政財産							
所在地	久慈市八日町1-1			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画地域内	防火地域	準防火地域	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	14,720.69㎡	建築面積	189㎡	延床面積	283.5㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度(建築年月)	1998年12月		経過年数	R2.4.1現在								
利用状況	物品保管庫として利用されている。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も物品保管庫として利用されることが想定される。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
劣化度調査												
定期点検												
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【優先度評価】

建物性能	高
劣化度診断	A
利用度	高
1次評価	維持管理
重要性	必要な施設
見通し	今後も必要となる見通し
2次評価	IV

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度3
評価結果(コメント)	長年に亘り物品を保管する場所が必要であることから、適宜修繕を行い現状維持に努めることが妥当である。

長寿命化等対策の方向性	適宜修繕を行い現状維持に努め、長寿命化を図るものとする。
-------------	------------------------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容					屋根外壁改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	計:139千円 内訳 屋根外壁改修工事 (工事費は庁舎に含む) 維持修繕費 (139千円) 財源:一般財源	合計:695千円

個別施設計画(個票)

施設名/棟名	二戸地区合同庁舎			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県二戸市石切所字荷渡6番3			施設類型	庁舎							
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	近隣商業地域							
敷地面積	10,115.9㎡ 建築面積		2,030.73㎡	延床面積	10,769.89㎡							
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		階数	9								
竣工年度(建築年月)	2003年7月		経過年数	R2.4.1現在 17								
利用状況	職員数は振興局再編で規模縮小したものの、2013年より空いたスペースに県との業務連携を図る目的で二戸市の行政組織の一部が入居している。 2000年 270人 →2011年 211人 →2013年 253人(二戸市入居) →2020年 252人											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	余剰スペース等はあまり無いため、有効活用は難しいが未利用設備等の有効活用が望まれる。											
主な仕様・設備	建築		電気		機械							
	屋根 外壁 床 壁 天井	シート防水 タイル貼 Pタイル、カーペット類、OAフロア パーテーション等 石膏ボード、石綿吸音板	受変電 発電 電灯 警報 構内交換 EV その他	屋内型 ディーゼル 省エネ型 P型 電子交換機 乗用EV 電気時計設備 テレビ共同受信設備等	冷暖房 熱源 空調 換気 ポンプ 自動制御 給排水 給湯 ガス 消火	冷温水方式、局所冷房方式 直吸冷温水機、チンクユニット ユニット、パッケージ、ファンコイルユニット 三種、一種 空調、オイル、真空給水等 中央監視 加圧送水方式 中央式、局所式 液化石油ガス 屋内・屋外消火栓、連結送水管、不活性ガス、粉末						
劣化度調査												
定期点検	同上		同上		同上							
修繕工事履歴			2013 2019.9	太陽光発電パワーコンディショナー更新 電話交換設備更新	2013.3 地価タンク貯蔵所外設修繕							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
	0				15,847		15,847		0			
R1	0				0				0			
H30	0				0				0			
H29	0				0				0			
H28	0				0				0			
H27	0				0				0			
計	0	0	0	0	15,847	0	15,847	0	0	0	0	0

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:36,570千円 内訳 放送設備改修工事設計 (1,672千円) 温外発生機修繕タスク改修 (1,516千円) 自動制御設備改修工事 設計・工事(28,105千円) 維持修繕費(5,277千円) 財源:一般財源	計:10,789千円 内訳 自家発電設備OH (5,512千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:17,113千円 内訳 放送設備改修工事 (11,836千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:8,049千円 内訳 高圧区分閉器改修工事 (968千円) 自火報設備改修工事設計 (1,804千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	計:20,551千円 内訳 自火報設備改修工事 (15,274千円) 維持修繕費 (5,277千円) 財源:一般財源	合計:93,072千円

【優先度評価】			
建物性能	高		
劣化度診断	A		
利用度	高		
1次評価	維持管理		
重要性	必要な施設		
見通し	職員数は横ばいの見通し		
2次評価	1		

【総合判定】	
総合判定/優先度	維持管理 / 優先度 3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高いことから、引き続き適切な管理を行い性能を維持していく必要がある。 築後17年経過し、標準耐用年数を経過している設備・機器は少ないが、計画的に修繕・改修を実施し、長寿命化を図るものとする。

長寿命化等対策の方向性	第4次地区合同庁舎整備計画以降、庁舎整備計画策定は凍結されているが、庁舎規模の適正化や大規模改修を包括的に管理するためには次期整備計画策定が必要であり、公共施設等総合管理計画の個別施設計画を次期整備計画と位置付けることとしているが、現時点では庁舎規模の最適化の方向性を定めることが困難であるため、当面は庁舎単位での大規模な整備・改修は見送り、各庁舎部位ごとの保全計画で予防保全としてオーホールによる計画的部品交換や部分更新・必要最小限の維持修繕による対応を行いながら、支障が生じない範囲で延命化を図る。 これにより、大規模改修や更新サイクルを延伸するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

施設名/棟名	知事公舎	財産区分	行政財産									
所在地	盛岡市東中野町80番	施設類型	職員公舎									
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし									
用途地域		用途地域	第一種低層住居専用地域									
敷地面積	16,483.26㎡	建築面積	742.96㎡									
延床面積			742.96㎡									
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階									
竣工年度(建築年月)	1971年9月16日	経過年数	R2.4.1現在 49									
利用状況	R2年度は1戸中0戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	知事は市内居住のためR2年度は空室。(ただし、日中の使用はある。)今後も職員公舎として必要である。											
主要設備	配電盤(屋内形) 自動火災報知設備(P形) 電気融雪(一部軒、樋)、誘導支援装置、赤外線感知設備 冷温水方式、局所暖房方式(FFストーブ等) 鋼製ボイラー(水蓄熱、開放式) 自動給水ポンプユニット、FRP製+公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回/年 建築物点検1回/3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	757	757										
H30	717	717										
H29	645	645										
H28	99	99										
H27	138	138										
計	2,355	2,355										

【優先度評価】			
建物性能	高~中		
劣化度診断	A		
利用度	高~中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(家賃アパート、家賃補助)		
見通し	△15		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定/優先度	維持管理	優先度6	
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容				変電設備更新工事		
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:4,558千円 内訳 変電設備更新工事(4,194千円) 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	計:364千円 内訳 維持修繕費(364千円) 財源:一般財源	維持修繕費 6,014千円 財源:一般財源































個別施設計画(個票)

公舎No.15

施設名/棟名	東中野寮1、2、3号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市東山一丁目414番1		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域							
敷地面積	5,240.88㎡	建築面積	1,194.6㎡	延床面積	3,018.25㎡							
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上4階									
竣工年度 (建築年月)	1974年1月9日	経過年数	R2.4.1現在		46							
利用状況	R2年度は101戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備 受変電 警報 その他 E V 給水 排水 給湯 消火	配電盤(屋内形)、キュービクル式 自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備 高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回/年 建築物点検1回/3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	200	200										
H30	364	364										
H29	96	96										
H28	59	59										
H27	289	289										
計	1,008	1,008										

【優先度評価】

建物性能	中～低			
劣化度診断	A			
利用度	低			
1次評価	用途廃止			
重要性 見通し	40			
2次評価	IV(40点未満)			

【総合判定】

総合判定/優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。			

長寿命化等対策の方向性	用途廃止
-------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.16

施設名/棟名	東中野寮4号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市東山一丁目414番1		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域							
その他区域												
敷地面積	5,240.88㎡	建築面積	217.57㎡	延床面積	892.66㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上4階								
竣工年度 (建築年月)	1981年3月26日		経過年数	39								
			R2.4.1現在									
利用状況	R2年度は30戸中2戸入居している。 令和2年5月以降入居者ゼロ											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備	受変電 配電盤(屋内形)、キュービクル式 警報 自動火災報知設備(P形)、副受信機、非常ベル その他 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(白熱灯、蛍光灯、蓄電池)、拡声設備 E V 給水 高置水槽方式、自動供給ポンプユニット、FRP製・公共水道 排水 公共下水道 給湯 ガス湯沸器 消火 屋内消火栓、粉末消火、消火ポンプユニット、呼水槽											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回/年 建築物点検1回/3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	220	220										
H30	158	158										
H29	19	19										
H28	69	69										
H27	133	133										
計	600	600										

【優先度評価】

建物性能	中～低		
劣化度診断	A		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40		
見通し	△20		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】

総合判定/優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	老朽が進んでいること、入居者がなく利用度が低いことから廃止する。			

長寿命化等対策の方向性	用途廃止
-------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						









個別施設計画(個票)

公舎No.21

施設名/棟名	高松合同公舎1号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市高松一丁目322番2		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域							
敷地面積	3405.12㎡	建築面積	520.08㎡	延床面積	520.08㎡							
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上1階									
竣工年度 (建築年月)	1979年3月30日	経過年数	R2.4.1現在		41							
利用状況	R2年度～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
警報 構内交換 その他 E V 給水 排水 給湯 消火	自動火災報知設備(P形) 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯) 水道直結方式・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回/年											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30		67										
H29		27										
H28												
H27		95										
計		189										

【優先度評価】

建物性能	低			
劣化度診断	B			
利用度	低			
1次評価	用途廃止			
重要性 見通し	40			
2次評価	IV(40点未満)			

【総合判定】

総合判定/優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。			

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.22

施設名/棟名	高松合同公舎2号棟		財産区分	行政財産								
所在地	盛岡市高松一丁目322番2		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域							
敷地面積	3405.12㎡	建築面積	451.83㎡	延床面積	903.66㎡							
構造	鉄筋コンクリート造	階数	地上2階									
竣工年度 (建築年月)	1979年3月30日	経過年数	R2.4.1現在		41							
利用状況	R2年度～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
警報 構内交換 その他 E V 給水 排水 給湯 消火	自動火災報知設備(P形) 弱電設備:テレビ共同受信設備、非常用照明装置(蛍光灯) 水道直結方式・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器 粉末消火											
劣化度調査	なし											
定期点検	設備点検1回/年 建築物点検1回/3年(前回実施:H30)											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	18	13										
H30	98	98										
H29	278	278										
H28	198	198										
H27	164	164										
計	756	756										

【優先度評価】

建物性能	低			
劣化度診断	B			
利用度	低			
1次評価	用途廃止			
重要性 見通し	40 △20			
2次評価	IV(40点未満)			

【総合判定】

総合判定/優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。			

長寿命化等対策 の方向性	用途廃止
-----------------	------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	用途廃止					
概算費用 【充当財源(見込)】						



































個別施設計画(個票)

公舎No.38

施設名/棟名	大通合同公舎		財産区分	行政財産								
所在地	花巻市大通1丁目16-30(389)		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	389.41㎡	建築面積	252.28㎡	延床面積	394.95㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1980年2月22日	経過年数	R2.4.1現在	40								
利用状況	H25年～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備 E V 給水 排水 給湯 消火	弱電設備:テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 局所式・ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	低		
劣化度診断	異常有(経過観察)		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△20:使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】

総合判定/優先度	用途廃止	優先度4		
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。			

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定
-------------	--------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						







個別施設計画(個票)

公舎No.41

施設名/棟名	東館合同公舎1号棟		財産区分	行政財産								
所在地	遠野市東館町5-4(68-5)		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	956.69㎡	建築面積	177.04㎡	延床面積	531.12㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上3階								
竣工年度 (建築年月)	1966年12月27日	経過年数	R2.4.1現在	54								
利用状況	H30～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備 E V 給水 排水 給湯 消火	その他 弱電設備・テレビ共同受信設備 高置水槽方式・公共水道、タンク類 (FRP製) 公共下水道 ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1 建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	H27トイレ水道詰まり修繕 5千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新								
R1												
H30												
H29												
H28												
H27	5	5										
計	5	0										

【優先度評価】	
建物性能	低
劣化度診断	巨異常有(経過観察)
利用度	低
1次評価	用途廃止
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)
見通し	△20:使用見込み無
2次評価	IV(40点未満)

【総合判定】	
総合判定/優先度	用途廃止 優先度4
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						

個別施設計画(個票)

公舎No.42

施設名/棟名	東館合同公舎2号棟		財産区分	行政財産								
所在地	遠野市東館町5-4(68-2)		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	429.28㎡	建築面積	126.3㎡	延床面積	200.92㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1966年3月29日	経過年数	R2.4.1現在	54								
利用状況	H27～入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備 E V 給水 排水 給湯 消火	弱電設備・テレビ共同受信設備 公共水道 公共下水道 ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1 建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】			
建物性能	低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△20:使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定/優先度	用途廃止	優先度4	
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。		

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						



個別施設計画(個票)

公舎No.44

施設名/棟名	六日町合同公舎		財産区分	行政財産								
所在地	遠野市六日町1-16(420-1)		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域 指定なし	用途地域	第一種住居地域								
その他区域												
敷地面積	512.82㎡	建築面積	188.15㎡	延床面積	376.3㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	1978年3月1日	経過年数	R2.4.1現在	42								
利用状況	H26~入居者なし											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	用途廃止予定											
主な設備 E V 給水 排水 給湯 消火	弱電設備:テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27~R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	H28 漏水修理 99千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	99	99										
H27												
計	99	99										

【優先度評価】			
建物性能	低		
劣化度診断	A異常無		
利用度	低		
1次評価	用途廃止		
重要性	40:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△20:使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定/優先度	用途廃止	優先度4	
評価結果 (コメント)	入居者がなく、老朽化も著しいことから廃止する方向。		

長寿命化等対策の方向性	用途廃止予定(R3.3.31)
-------------	-----------------

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容						
概算費用 【充当財源(見込)】						



































個別施設計画(個票)

公舎No. 60

施設名/棟名	中井沢合同公舎(2号棟)		財産区分	行政財産								
所在地	大船渡市猪川町中井沢56-2		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域 指定なし	用途地域	第一種住宅地域								
敷地面積	598.69㎡	建築面積	165.69㎡	延床面積	271.53㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度(建築年月)	1982年3月24日	経過年数	R2.4.1現在	38								
利用状況	R2年度は5戸数のうち5戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	その他 E V 給水 排水 給湯 消火 弱電設備・テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 局所式・ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27～R1建築物点検(早急に改修する指摘事項なし)											
修繕工事履歴	R1 2-9タンク内ボールタップ交換 5千円、R1火災警報器更新 H30 10号流し水漏れ修繕 21千円、H30量の表替え H28 7号室浴室タイル修繕他 359千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	4,066	5	4,061									
H30	21	21										
H29	0											
H28	359	359										
H27	0											
計	4,446	385	4,061									

【優先度評価】			
建物性能	富～中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	富～中		
1次評価	維持管理		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見通し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】			
総合判定/優先度	維持管理	優先度6	
評価結果(コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。		

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	維持修繕 133千円 財源:一般財源	維持修繕 133千円 財源:一般財源	維持修繕 133千円 財源:一般財源	維持修繕 133千円 財源:一般財源	維持修繕 133千円 財源:一般財源	維持修繕 665千円 財源:一般財源































個別施設計画(個票)

公舎No.76

施設名/棟名	千徳合同公舎(2号棟)		財産区分	行政財産								
所在地	宮古市大字千徳字太田51-1		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域							
その他区域												
敷地面積	1425.47㎡	建築面積	215.99㎡	延床面積	431.93㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上2階								
竣工年度 (建築年月)	2008年10月18日		経過年数	R2.4.1現在								
利用状況	R2年度は10戸数のうち10戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	その他 E V 給水 排水 給湯 消火 弱電設備・テレビ共同受信設備 水道直結方式・公共水道 公共下水道 局所式・ガス湯沸器											
劣化度調査	なし											
定期点検	なし											
修繕工事履歴												
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	高		
劣化診断	IA異常無		
利用度	高~中		
1次評価	修繕・改修		
重要性	45:代替施設有(賃貸アパート、家賃補助)		
見直し	△15:多用途使用見込み無		
2次評価	IV(40点未満)		

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理	優先度6		
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源(見込)】	維持修繕 212千円 財源:一般財源	維持修繕 212千円 財源:一般財源	維持修繕 212千円 財源:一般財源	維持修繕 212千円 財源:一般財源	維持修繕 212千円 財源:一般財源	維持修繕 1,060千円 財源:一般財源















































個別施設計画(個票)

公舎No. 97

施設名/棟名	南青山合同公舎		財産区分	行政財産								
所在地	東京都港区南青山2丁目13-66(399)		施設類型	職員公舎								
都市計画区域	都市計画区域内	防火地域	準防火地域	用途地域	第二種住宅地域							
敷地面積	726.75㎡	建築面積	275.57㎡	延床面積	1150.8㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	地上5階								
竣工年度 (建築年月)	1987年3月19日		経過年数	33								
利用状況	R2年度は20戸のうち19戸入居している。											
社会情勢等変化の対応/ 公共施設の有効活用	今後も職員公舎として必要である。											
主な設備	EV	常用EV1基										
	冷暖房	局所冷暖房方式(エアコン)										
	熱源	加圧送水方式・公共水道、タンク類(FRP製)										
	給水	公共下水道										
	排水	局所式										
給湯	粉末消火											
消火	なし											
劣化度調査	なし											
定期点検	H27~R1建築物点検(早急に改修する指図書項なし)											
修繕工事履歴	R1 トイレ照明器具修繕他 2,838千円 エアコン更新1,155千円 H30 台所水栓修繕他 2,124千円、H30火災警報器更新 H29 101号室エアコン修繕他 2,189千円 H28 204号浴室折れ戸修繕他 1,164千円 H27 101号室トイレ便器交換修繕 2,237千円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	3,993	2,838		1,155								
H30	2,124	2,124										
H29	2,189	2,189										
H28	1,164	1,164										
H27	2,237	2,237										
計	11,707	10,552		1,155								

【優先度評価】

建物性能	高~中		
劣化度診断	A異常無		
利用度	高~中		
1次評価	維持管理		
重要性	50:代官施設者(賃貸アパート、家賃補助)		
見込	△10:多用途使用見込み無		
2次評価	Ⅲ		

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理	優先度5		
評価結果 (コメント)	計画的に施設の修繕・改修を行いながら、施設を維持管理する。			

長寿命化等対策 の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-----------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容		・屋根外壁改修(設計)	・屋根外壁改修(工事)			
	→ 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源(見込)】	計 564千円	計 4,062千円	計 51,802千円	計 564千円	計 564千円	維持修繕 47,556千円 財源:一般財源
	維持修繕 564千円 財源:一般財源	外壁改修設計 3,498千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	外壁改修工事 51,238千円 維持修繕 564千円 財源:一般財源	維持修繕 564千円 財源:一般財源	維持修繕 564千円 財源:一般財源	

個別施設計画(個票)

その他No. 1

施設名/棟名	岩手県防災航空センター			財産区分	行政財産							
所在地	花巻市葛3-183-1			施設類型	庁舎、事務所							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	799.67㎡	建築面積	192.9㎡	延床面積	363.96㎡							
構造	鉄筋コンクリート造	階数	2									
竣工年度 (建築年月)	1996年7月29日	経過年数 R2.4.1現在	23									
利用状況	防災航空隊員の活動拠点として 365日/年 開庁											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	航空消防防災活動に必要な機器を適宜更新											
主な設備	事務室:執務室 会議室:隊員会議、隊員個人用装備保管 応接室:米客応接 無線機器室:航空、消防無線機材収蔵 機材庫:応援、受援用品保管 指揮車:防災航空隊員が地上隊として活動する場合等に使用											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	なし											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計	0	0	0	0								

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持管理
重要性	85点(地上での救助、救急、空中消火等消防活動が困難な状況下で航空消防活動を行う拠点として代替できない施設である。)
見通し	△15点(防災航空隊の活動拠点として防災航空センターは今後も必要。)
2次評価	1(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 優先度3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:178千円 内訳 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	計:678千円 内訳 シャッター改修工事(500千円) 維持修繕費(178千円) 財源:一般財源	合計:1,390千円

個別施設計画(個票)

その他No. 2

施設名/棟名	総合防災センター/庁舎、事務所		財産区分	行政財産								
所在地	茨波郡矢中町医大通二丁目2番2号		施設類型	庁舎、事務所								
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	544.01㎡	延床面積	877.92㎡							
構造	鉄筋コンクリート造		階数	2								
竣工年度(建築年月)	1986年3月25日		経過年数	34								
利用状況	来館者数 8,825人(令和元年度)											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	地震体験室の起震装置の更新(東日本大震災の揺れを再現するプログラムの追加)や、利用者に配慮した施設改修を実施している。											
主な設備	防災展示室:パネル展示、体験コーナー等 地震体験室:震度4~7程度の地震を疑似体験できる 視聴覚教室:視聴覚機器(防災映画、防災ビデオ等)による教育を行う。 救命救急コーナー:救命救命対応の演技により心肺蘇生法の訓練を行う。 防災シアター:100インチマルチプロジェクションにより防災学習を行う 防災指導車:県内各地において、疑似体験を通じ、広く県民の防災に関する知識の普及・啓発に資することを目的として整備。											
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 1.屋根:経年劣化で退色が見られる。2.外壁、丸柱:壁タイルに浮き、亀裂有り。3.軒天:アルミパネルに白錆有り。4.1階東側:サッシのシーリングが破断している。5.1階事務室:風を伴う降雨時に雨水の侵入有り。6.玄関ホール、1階展示室:排煙窓オペレーターが作動不良。											
修繕工事履歴	平成26年11月:(煙体験装置)発煙用機器が老朽化で不作用の為、更新した。工事費:658,800円 平成27年3月:(トイレ改修)1、2階トイレの洋式化。工事費:2,494,000円 平成28年3月:(2階視聴覚室空調設備改修)2階視聴覚室の空調設備の撤去及び新設。工事費:1,998,000円 平成29年3月:(地震体験ローラー制作・交換)地震体験室において、揺れを発生させる部品が経年劣化による摩耗のため、制作、交換を行った。工事費:1,209,600円											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	604	404		200								
H30	525	525										
H29	375	33		342								
H28	213	213										
H27	677	677										
計	2,393	1,851		542								

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒中～低
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	修繕・改修
重要性	80点(地震体験室や、煙体験室等、県民への防災知識・技術の普及及び防災意識を高める施設として代替できない施設である。)
見通し	△15点(施設は展示品や暗闇体験室等、流動的な使用が難しい。)
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用【充当財源(見込)】	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:430千円 内訳 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:2,230千円 内訳 建築修繕(1,500千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	計:1,730千円 内訳 建築修繕(1,000千円) 電灯修繕(300千円) 維持修繕費(430千円) 財源:一般財源	合計:6,550千円

個別施設計画(個票)

その他№. 3

施設名/棟名	総合防災センター/備蓄倉庫		財産区分	行政財産								
所在地	柴波郡矢巾町医大通二丁目2番2号		施設類型	備蓄倉庫								
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	200㎡	延床面積	218.75㎡							
構造	鋼鉄造	階数			1							
竣工年度 (建築年月)	1986年3月25日	経過年数			34							
利用状況	災害用の資機材を保管している。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用												
主な設備												
劣化度調査	日常点検による簡易劣化度判定「A」											
定期点検	平成28年3月実施 外部鉄骨梁に発錆、外壁断熱鋼製パネル腐食、屋外照明器具腐食											
修繕工事履歴	なし											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	なし											
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	建物性能⇒高～中
劣化度診断	A(日常点検による簡易劣化度判定)
利用度	利用状況⇒高～中
1次評価	維持・管理
重要性	65点(災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。)
見通し	△15点(災害時に必要とされる資器材を保管するという施設の特性上、多目的利用、余剰スペースの活用等は難しい。)
2次評価	II(60～50点)

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度4
評価結果 (コメント)	災害時に必要とされる資器材を保管している施設であり、代替ができない施設である。現在は大きな修繕を必要とする箇所はないが、計画的に修繕を行い施設の機能を維持していく必要がある。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	← 日常点検に基づく維持修繕 →					
概算費用 【充当財源(見込)】	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:127千円 内訳 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:227千円 内訳 外部電灯設備修繕 (100千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	計:1,627千円 内訳 外部シャッター修繕 (1,500千円) 維持修繕費 (127千円) 財源:一般財源	合計:2,235千円

個別施設計画(個票)

その他No. 4

施設名/棟名	岩手県消防学校/校舎本館		財産区分	行政財産								
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号		施設類型	校舎								
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	427.7㎡	延床面積	1,325.14㎡							
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	3階								
竣工年度(建築年月)	1974.3.26	経過年数	R24.1現在	46年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	<b>【建物】</b> ・校長室 ・事務室 ・第一教室 ・第二教室 ・講堂 ・会議室 ・理化学実験室 ・教材展示室 ・図書室 ・講師控室	<b>【電気設備】</b> ・受変電設備 ・自家発電設備	<b>【機械設備】</b> ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備									
劣化度調査(平成30年1月)	・屋上防水については築後改修歴ないため、塗膜防水の予防保全が必要 ・外壁は、クラックや塗装剥離の浮きがあることから予防保全工事が必要 ・屋外階段はコンクリート基礎の劣化により早急な修繕が必要 ・外部建具については、排煙設備の基準に違反しているほか玄関ドア等の経年劣化 ・外構関係では、ネットフェンスの劣化、穴あきが目立ち、基礎天端モルタルの脱落等早急な修繕が必要 ・照明器具は、更新時期を過ぎたままとなっている。その他スイッチ、コンセント等は建設時のままで経年劣化がみられることから早期の更新が必要 ・分電盤も建設時のままで経年劣化がみられ、早期の更新が必要 ・給水設備の高架水槽は昭和48年製、耐震安全性を考慮すると早急な更新が必要 ・配管類については、耐震対策が確認できない。給水管や暖房については改修が行われているが、PS内に既存配管がそのままの状態であり、撤去が望ましい。 ・空調、暖房設備等は計画的な更新が必要。排水設備については配管全般に腐食が確認でき、今後、早期の更新が望ましい。											
	○劣化度調査の総合所見では、救急棟を除く施設の劣化度はほぼ同程度であるが、長寿命化改修に当たっては、5年以内の対応を要するとされた。											
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)	○毎年実施(委託事業)								
修繕工事履歴	H27 校舎玄関天井雨漏り修繕 H30 校舎本館外部階段塗装(1,998千円) H30 校舎玄関ドア改修(249千円)		H28 高圧区分開閉器交換 H29 キュービクル真空遮断器交換等									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30	2,247	2,247										
H29					1,296	1,296			330	330		
H28					531	531						
H27	199	199										
計	2,446	2,446			1,821	1,821			330	330		

【優先度評価】

建物性能	中
劣化度診断	A 簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	高 利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	1 (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化のほか、校舎本館の耐震補強工事も未対応(保留のまま)であり、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策の方向性	耐震改修工事や非常用自家発電設備など、災害対応に係る部分は早急に整備する。 なお、日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容			受電設備更新	視聴覚・校内放送	照明設備改修工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計:769千円 内訳 維持修繕(769千円)	計:6,269千円 内訳 受電設備更新工事(5,500千円) 維持修繕(769千円)	計:6,057千円 内訳 視聴覚・校内放送改修工事(5,288千円) 維持修繕(769千円)	計:11,424千円 内訳 照明設備改修工事(10,655千円) 維持修繕(769千円)	合計:25,288千円
	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	財源:一般財源	

個別施設計画(個票)

その他No. 5

施設名/棟名	岩手県消防学校/体育館(屋内訓練所)			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢野町医大通二丁目2番2号			施設類型	体育館							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	900㎡	延床面積	1,071.5㎡						
構造	鉄骨造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	2階								
竣工年度(建築年月)	1975.3.28	経過年数	R2.4.1現在 45年									
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・訓練所 ・倉庫	【電気設備】 ・拡声設備	【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備									
劣化度調査	<p>・鋼板屋根、キャンピー屋根とも築後修繕履歴が確認できないことから、3～5年以内の大規模修繕(塗り替え)が必要。 ・外壁はサイディングのへこみ、固定ビスの脱落等が見られ、築後修繕履歴が確認できないことから、他の大規模修繕工事と合わせ改修工事が必要。 ・外部建具、内部建具とも経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。</p> <p>・照明器具が建設時のままで、外観上も経年劣化が見られ、早い時期の更新が望まれる。 ・防災設備は、外観上不具合は見受けられないが、更新時期を過ぎていることから早い時期の更新が必要。</p> <p>・各種設備において、当面、使用上特に問題は無いが、今後計画的な更新が望ましい。</p>											
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	なし		なし		なし							
面近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:621千円 内訳 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	計:19,202千円 内訳 鉄骨柱及び内部鉄骨部改修工事(18,581千円) 維持修繕(621千円) 財源:一般財源	合計:21,686千円

個別施設計画(個票)

その他№. 6

施設名/棟名	岩手県消防学校/寄宿舎			財産区分	行政財産			
所在地	岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目2番2号			施設類型	寄宿舎			
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし			
敷地面積	42,577.66㎡ <b>建築面積</b>		922.52㎡	延床面積	1,515.64㎡			
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺	階数	2階					
竣工年度(建築年月)	1974.3.26	経過年数	46年					
		R2.4.1現在						
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名							
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。							
主な設備	【建物】 ・寮室 8人×14室 ・食堂 ・談話室 ・寮直室 ・舎監室 ・男子用浴室 ・女子用化粧室(トイレ・浴室)		【電気設備】 ・拡声(校内放送)設備		【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・ガス設備 ・暖房・空調・換気設備			
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。鉄板屋根は令和4年を目途に予防保全の差し替えが望ましい。ケヤクビ屋根は改修歴がないことから、屋根塗装と同時期に塗膜防水の予防保全が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装膜の浮き膨らみがあり、3～5年後を目途に予防保全工事が望まれる。 ・外部建具は排煙設備の基準に違反している。鋼製建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要 ・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要		・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。 ・各種設備において、大きな問題はないが、今後、計画的に更新することが望ましい。			
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)			
修繕工事履歴			H27 寮舎浴槽用循環ろ過装置修繕					
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1								
H30								
H29								
H28								
H27					281	281		
計					281	281		

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいたれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:879千円 内訳 維持修繕(879千円) 財源:一般財源	計:879千円 内訳 維持修繕(879千円) 財源:一般財源	計:879千円 内訳 維持修繕(879千円) 財源:一般財源	計:879千円 内訳 維持修繕(879千円) 財源:一般財源	計:879千円 内訳 維持修繕(879千円) 財源:一般財源	合計:4,395千円







個別施設計画(個票)

その他No. 9

施設名/棟名	岩手県消防学校/救急訓練棟(接続廊下舎)			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢野町医大通二丁目2番2号			施設類型	校舎							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
敷地面積	42,577.66㎡		建築面積	307.24㎡	延床面積	520.6㎡						
構造	鉄筋コンクリート造 亜鉛メッキ鋼板葺		階数	2階								
竣工年度(建築年月)	1993.3.29		経過年数	27年								
利用状況	○教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・講義室 ・講師控室 ・実習室 ・高規格救急車実習室	【電気設備】 ・拡声(校内放送)設備	【機械設備】 ・給水設備 ・排水設備 ・暖房・空調・換気設備									
劣化度調査	<p>・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られないが、今後10年程度内に予防保全としてウレタン保護防水層設置工事を実施することが望ましい。</p> <p>・外壁はクラックや塗装剥離の浮きが少数見られ、今後10年程度内に予防保全工事を実施することが望ましい。</p> <p>・内部建具は経年による損傷や塗装の剥がれが目立つ。</p> <p>・内部仕上げ材は経年による汚れやクラック、剥がれが目立つ。</p> <p>・照明器具については、設置後24年を経過し、更新時期をすぎているので、計画的な更新を行うことが必要。</p> <p>・分電盤や防災設備等そのた電気設備も24年を経過しており、経年を考慮した計画的な更新が必要。</p> <p>・給水、排水を含む配管類の耐震対策は確認できない。</p> <p>・空調設備、暖房設備等については、今後計画的な更新が望ましい。</p>											
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	なし		なし		なし							
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28												
H27												
計												

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I(60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と思考される。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。 これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	計:302千円 内訳 維持修繕(302千円) 財源:一般財源	合計:1,510千円

個別施設計画(個票)

その他№. 10

施設名/棟名	岩手県消防学校/主訓練塔			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢野町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42,577.66㎡	建築面積	198.12㎡	延床面積	719.66㎡							
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根		階数	8階								
竣工年度 (建築年月)	1997.3.24		経過年数 R2.4.1現在	22年								
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】 ・訓練用器具庫 ・バルコニー	【電気設備】 ・拡声設備 ・人荷用エレベータ ・防災設備(雷保護設備)	【機械設備】 ・給水設備									
劣化度調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、裏側のバルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予防保全として押さエコングリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。</li> <li>・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に府大規模修繕工事が望まれる。</li> <li>・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後保全対象でよいと思われる。</li> </ul>								
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	H28 主訓練塔外部階段没対策 H29 主訓練塔建物外壁及び外部階段補修		H30 主訓及び補助訓非常照明電池交換(1,186千円) H30 立入スリッパカバー製作取付(608千円) R2 主訓練塔エレベーター耐震設備修繕(15,708千円) R2 主訓練塔等遊歩針修繕(396千円)									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30					1,791	1,791						
H29	2,484	2,484										
H28	329	329										
H27												
計	2,813	2,813			1,791	1,791						

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と見られる。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	---

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	エレベータ改修工事 雷設備改修工事		非常用照明改修工事			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:16,521千円 内訳 エレベータ改修工事 (15,708千円) 雷設備改修工事 (813千円) 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:4,628千円 内訳 非常用照明改修工事 (4,211千円) 維持修繕 (417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	計:417千円 内訳 維持修繕(417千円) 財源:一般財源	合計:22,401千円

個別施設計画(個票)

その他No. 11

施設名/棟名	岩手県消防学校/補助訓練塔			財産区分	行政財産							
所在地	岩手県紫波郡矢野町医大通二丁目2番2号			施設類型	附属棟							
都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし							
その他区域												
敷地面積	42577.66㎡	建築面積	96.64㎡	延床面積	308.24㎡							
構造	鉄筋コンクリート造 陸屋根		階数	5階								
竣工年度 (建築年月)	1997.3.24	経過年数	23年									
利用状況	○ 教育訓練実施状況(令和元年度) 14課程 508名											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	○ 消防組織法に基づき、県が行う教育訓練施設であり、今後も継続した利用が見込まれる。											
主な設備	【建物】	【電気設備】 ・拡声設備	【機械設備】 ・給水設備									
劣化度調査	・屋上防水について、主防水の劣化は外観上見られない。なお、東側バルコニーのシート防水の外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に予保全として押さえコンクリートの塗膜防水の施工やシート防水の撤去、新設が望ましい。 ・外壁はクラックや塗装劣化、シーリング劣化等外観上の劣化が著しい。築後25年を迎える時期に大規模修繕工事が望まれる。 ・内部建具は経年劣化による塗装の退色や傷が目立つ。		・照明器具は設置後20年が経過しており、更新時期を迎えているので、計画的な更新を行うことが必要。 ・防災設備(雷保護設備)は、設置後20年が経過しており、外観上も劣化が目立つことから早い時期の更新が必要。		事後保全対象でよいと思われる。							
定期点検	○3年に1回実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)		○毎年実施(委託事業)							
修繕工事履歴	H28 補助訓練棟バルコニー補修											
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1												
H30												
H29												
H28	1,026	1,026										
H27												
計	1,026	1,026										

【優先度評価】

建物性能	A判定 概ね良好
劣化度診断	簡易劣化度判定A、一部異常が認められ、経過観察が必要
利用度	利用者の変動が少なく、今後も継続的な利用が見込まれる。
1次評価	修繕・改修
重要性	当該施設は法律により設置が義務付けられている教育・訓練機関であり、代替サービスの提供も困難である。
見通し	教育訓練施設であり、利用者数の変動は少ない。施設の余剰スペースはなく、他の活用方法はないが、今後も必要な施設である。
2次評価	I (60点以上)

【総合判定】

総合判定/優先度	修繕・改修 優先度3
評価結果(コメント)	施設の重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくが、老朽化等により、建替えも視野にいれた検討が必要と史料される。

長寿命化等対策の方向性

日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	避雷設備改修工事		非常用照明改修工事			
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)】	計:179千円 内訳 避雷設備改修工事(396千円) ※主訓練塔工事で計上 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:979千円 内訳 非常用照明改修工事(800千円) 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	計:179千円 内訳 維持修繕(179千円) 財源:一般財源	合計:1,695千円

個別施設計画(個票)

その他№.12

施設名/棟名	岩手県職員共済会館 エスポワールいわて			財産区分	普通財産							
所在地	岩手県盛岡市中央通一丁目20番1			施設類型								
都市計画区域	区域内	防火地域	準防火地域、防火地域	用途地域	商業地域							
その他区域												
敷地面積	2,094.37㎡ <b>建築面積</b>		1,430.21㎡	延床面積	6,556.33㎡							
構造	鉄骨鉄筋コンクリート											
竣工年度(建築年月)	H5.9	経過年数	R24.1現在 8階地下1階									
利用状況	岩手県が、岩手県職員共済会館(昭和44年10月開設の施設内容等)に対する組合員のニーズの進化や施設の老朽化(築後24年経過)、また、開庁から離れている(1.5km)等の立地条件への問題に対応するため、宿泊や宴会のみならず、気軽にストレスの発散や基礎体力づくり等ができる健康・運動機能、趣味の取得や教養の向上等のための調査開設が可能な多機能を持った施設として、県庁から近距離の場所を確保し、地方職員共済組合の投資不動産資金により平成5年10月に新築(移転増築)したものである。平成21年に地方職員共済会が岩手県支部から岩手県に組織譲渡され、現所有の宿泊施設となり、これまでこの宿泊施設として、地方職員共済組合岩手県支部に経営委託している。直近3か年の利用状況は、年間延べ94,000～95,000人程度の利用者数があり、1日当たり約260人の利用者がある。令和元年で見ると、宿泊利用率が約47%、宴会会利用率が約46%となっている。会議室利用や議会対応時等の宿泊利用など、組合員(県職員)の利用は安定的な利用がある。また、県庁併設施設としての位置づけもある。											
社会情勢等変化の対応/公共施設の有効活用	平成23年3月の東日本大震災津波震災に伴い、国等防災関係機関の連絡員の常駐施設になるなど、災害対策本部等を設置する代替施設の役割を担っている。 また、近年、頻りに発生している災害等に伴い、避難指示(緊急)又は避難勧告が発令された地域における被災者の受入施設としての支援も行っている。											
主な設備	【建築設備】 昇降機設備(EV設備) 防災設備(防火シャッター、防火扉)	【電気設備等】 受変電設備(高圧、低圧) 自家発電設備 電灯設備、電熱設備 自動火災報知設備、非常警報設備 構内交換設備、拡声設備、誘導支援装置 監視カメラ設備、テレビ共同受信設備、映像・音響装置	【空調・換気設備、給排水・衛生設備】 冷暖房設備(冷温水機、給湯機、ボイラ、冷暖房配管、冷却塔) 空調設備(空調機)、換気設備(排気扇) ポンプ設備(空調用、ボイラ給水用、オイル用、補給水用) 給水設備(受水機、高圧水機、浄水ポンプ、給水配管) 排水設備(排水配管) ガス設備(都市ガス配管) 消火設備(消火栓、連絡送水機、スプリンクラー、ハロゲン消火) 衛生設備(バス・トイレほか) 厨房設備									
劣化度調査	H25年度特殊建築物調査報告で指導を受け、H27.9外壁タイル劣化調査を行った。外壁タイルの浮き部分や亀裂部分があり、落下の恐れがある。											
定期点検	1 EV昇降機の整六区画に用いる防火設備の遮断性能(既存不適格) 2 防火シャッターの危険防止機構の未設置(既存不適格) 3 外壁タイルの全面打診調査・改修(EV設備、既存不適格) 4 駆動装置等、昇降路内及びピット内の耐震対策の施工(1～3号機) 5 戸開走行保護装置の取付(1～3号機) 6 主索又は鎖及び調速機ロープの取付、約合カチ各都改修(1～3号機) 7 地震時管制運転装置の取付(3号機) 8 施設設置(点検ロスタイプ)の施工(3号機)	1 高圧引込柱の区分開閉器(1993年製)が更新推奨年10年以上経過 2 変電設備の機器が更新推奨時期15年以上又は20年以上経過 3 非常用照明(バッテリー)の確認 4 キュービクル低圧非常動力盤の電源切替器不具合	1 スプリンクラー設備のバルブ等漏水 2 煙感知器7個不動作有り 3 防排煙垂れ壁作動不良、シャッター作動不良有り 4 誘導灯予備電池不良12個、器具不良1台									
修繕工事履歴	1 特別ホール改修 2 シュータン・クロス張替 3 レストラン改装 4 和宴会室バリアフリー化 5 談話室・居酒屋の一体化 6 玄関前点字ブロック設置 7 地下駐車場改修	1 非常灯バッテリー交換(7.8階) 2 地デジ放送器設置 3 館内照明LED化 4 監視カメラ修繕(7階) 5 無線LAN設置	1 冷温水発生機取替 2 障害者、客室、共用トイレウォッシュレット化 3 厨房機器更新、空調設備設置 4 中央監視装置設備改修 5 浴室タイル張替等 6 ハロゲン貯蔵容器更新									
直近5年の維持修繕・改修費	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新	計	維持修繕	改修	更新
R1	0				0				0			
H30	10,239		5,400	4,839	1,001		1,001		2,970			2,970
H29	5,699	5,699			30,482		30,482		35,726			35,726
H28	24,333		24,333		0		0		0			0
H27	0				0		0		9,720		9,720	
計	40,271	5,699	29,733	4,839	31,483	0	31,483	0	48,416	0	9,720	38,696

【優先度評価】

建物性能	機能異常有(経過観察、要調査)、管理状態良	機能異常無、管理状態良	機能異常無、管理状態良
劣化度診断	簡易劣化度調査結果:A		
利用度	年間延べ利用者約94,000人～95,000人(直近3か年)、1日当たり利用者数約260人、宿泊利用率約47%(R元)、宴会会利用率約46%(R元)		
1次評価	該当:維持管理(建物性能⇒高～中、利用状況⇒高～中)		
重要性	地公法上の職員の福利厚生施設に位置づけられており、職員(組合員)の福祉充実や健康増進等に必要な施設である。		
見直し	利用者は、横ばい傾向と考えられるが、県としての職員及び住民への施設サービスの提供は、今後も必要と考える。		
2次評価	I (60点以上)		

【総合判定】

総合判定/優先度	維持管理 / 優先度 3
評価結果(コメント)	施設サービスの重要性は高く、今後とも必要な修繕・改修を行いながら施設を維持管理していくもの。また、岩手県災害時業務継続計画、災害対策本部及び災害対策本部支援室を設置する代替施設に位置付けられている。

長寿命化等対策の方向性	日常点検による維持修繕を必要最小限の対応を行いながら、支障が生じない範囲で改修(大規模含む。)や更新時期を後年に延伸する。これにより、改修(大規模含む。)や更新の時期の周期サイクルを延長するとともに、経費の平準化を図る。
-------------	--

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考/合計
対策の内容	ハロゲン貯蔵容器更新設計監理	空調計装ユニット更新設計監理	自火報設備更新設計監理	給湯設備更新工事監理	大ホール絨毯等張替工事	
	ハロゲン貯蔵容器更新工事	空調計装ユニット更新工事	自火報設備更新工事	給湯設備更新工事	放送設備更新工事監理	
	照明制御装置等設計監理	南側屋上防水改修工事	特別ホールR24等改修工事	新履機各種更新等工事	放送設備等更新工事	
	照明制御装置等更新工事		非常灯バッテリー交換工事	放送設備更新工事設計	厨房洗浄設備更新工事監理	
	共用トイレ改修工事			厨房洗浄設備更新工事設計	厨房洗浄設備更新工事	
	日常点検に基づく維持修繕					
概算費用【充当財源(見込)(千円)】	計: 33,378千円 内訳 設計監理( 4,004) 更新工事(26,580) 改修工事( 2,794)	計: 28,599千円 内訳 設計監理( 2,142) 更新工事(24,181) 改修工事( 2,277)	計: 24,177千円 内訳 設計監理( 6,281) 更新工事(11,418) 改修工事( 6,478)	計: 23,526千円 内訳 設計監理( 2,640) 更新工事(20,886)	計: 18,240千円 内訳 設計監理( 1,694) 更新工事(16,555)	合計: 127,929千円
	財源: 一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源: 一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源: 一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源: 一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	財源: 一般財源 (地共済実施) 維持修繕(3,213)	(地共済計) 16,065千円 総計: 143,994千円

